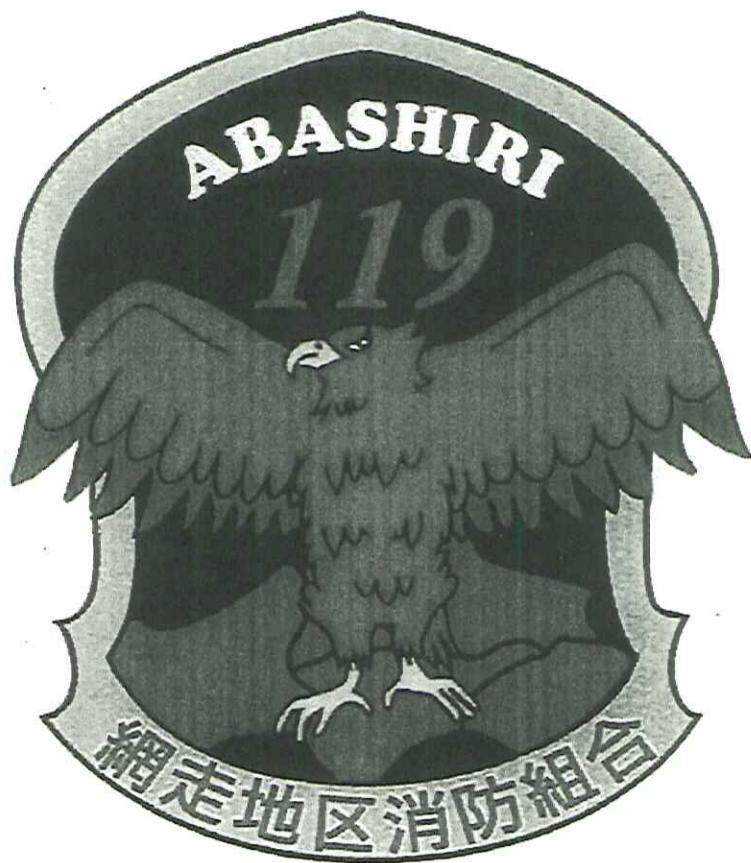


平成 22 年版

消防年報



網走地区消防組合

(平成 23 年刊行)

はしがき

1. この年報は、網走地区消防組合における消防現勢及び平成22年度中の消防業務の諸資料並びに火災統計等を収録し、消防事情を紹介し、今後の消防行政執行上の参考とすることを目的として、編集したものです。
2. この年報は、特記するものを除き、平成23年4月1日現在で収録したものですが、火災統計、救急統計及び建築確認申請については、平成22年1月より12月までのものを収録しております。

平成23年7月

網走地区消防組合消防本部

目 次

位置及び管内図	1
消防力等総括表	2
総務・警防	
消防庁舎の現況	3
沿革	4
消防組合機構図	18
組合予算	19
消防職員配置状況	21
消防団員配置状況	23
前年度研修状況	25
消防車両保有状況	26
可搬式動力ポンプ現況	28
消防資器材保有状況	29
消防水利施設現況	30
火災統計	
火災概況	31
地域別単位火災状況	32
月別火災統計	33
建物火災用途別発生状況	34
月別気象状況	35
過去10ヶ年の火災発生状況	36
組合発足以降の主な火災	37
救急・救助	
救急体制	41
出場件数及び搬送人員	42
年齢・発生場所別搬送人員	43
月別救急業務実施状況	45
既往5ヶ年救急活動状況	46
既往5ヶ年救助活動状況	47
予防・危険物	
危険物施設数	48
危険物施設許認可状況	49
防火対象物現況	50
中高層建築物の現況	51
月別建築同意処理状況	52
防火対象物別建築同意処理状況	53
防火管理者講習会開催状況	54
法令・条例に基づく各種届出状況	55
広報実施状況	56
自主防災組織	
自主防災組織沿革及び組織図	57
防火クラブ現況	58
通信施設	
消防有線系統図	59
消防団緊急伝達システム構成図（消防署）	61
消防緊急通信指令システム構成図（消防署）	62
網走市緊急通報システム（ふれあいコール）の概要	63
網走市緊急通報システム（ふれあいコール）のしくみ	64
網走市緊急通報システム（ふれあいコール）の受信状況	65

網走地区消防組合位置図及び管内図

○面積・人口・世帯数

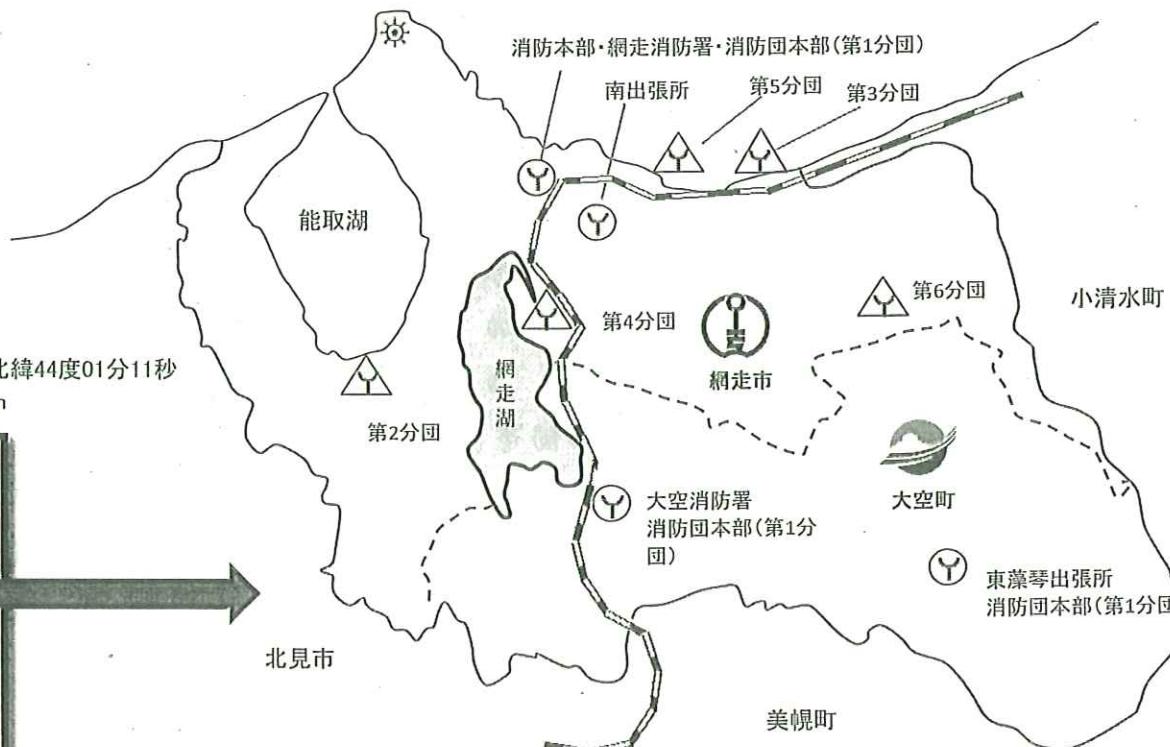
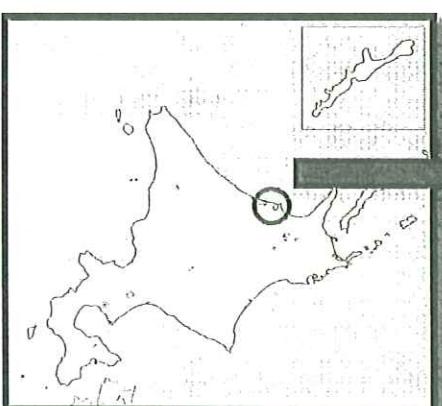
	網走市	大空町	合計
面 積	471.00	343.62	814.62
22年国調人口	41,006	7,932	48,938
住基人口	38,734	8,138	46,872
住基世帯	18,258	3,137	21,395

※面積の単位:km²

住基人口・住基世帯は、平成23年3月31日現在

オホーツク海

○位置(消防本部)東経114度15分56秒・北緯44度01分11秒
○広ぼう 東西 約50km・南北 約45km



1表 網走地区消防組合の消防力等総括

構成市町村	市-1	面 積	22年国勢調査人口			平成23年3月31日住基人口	平成23年3月31日住基世帯					
	町-1	814.62km ²	48,938人			46,872人	21,395世帯					
消防本部・署等	消防本部の数	1本部	職 員	消防吏員	103名	消防団	消防団数	3				
	消防署の数	2署		その他の職員	0名		分団数	9				
	出張所の数	2所		計	103名		消防団員数	396名				
				条例定員数	113名		条例定員数	417名				
構成市町一般会計予算額	29,581,798千円	消防ポンプ自動車等	普通ポンプ自動車	5台	無線	基地局	5局	平成二十二年火災統計	火災総件数	14件		
			大型水槽車	5台		固定局	8局		うち建物火災	9件		
			水槽付消防ポンプ自動車	7台		陸上移動局	99局		建物焼損面積	1,253m ²		
			はしご付消防ポンプ自動車	1台					火災による損害額	74,862千円		
組合予算額	1,113,157千円		化 学 消 防 自 動 車	2台	消防水利	消防栓	公設		救急出場件数	1,769件		
			救 急 自 動 車	6台			私設		うち急病	1,040件		
			指 令 車	6台		防火水槽	40m ³ 以上		うち交通事故	129件		
			救 助 工 作 車	1台			40m ³ 未満		搬送人員	1,702名		
人口1人当たりの予算額 (平成23年3月31日 住基人口)	23,749千円		小 型 動 力 ポ ン プ 積 載 車	10台	自主防災組織	団体数						
			そ の 他 の 車 両	9台		幼年消防クラブ総人員						
			計	52台		少年消防クラブ総人員						
			小 型 動 力 ポ ン プ	15台		婦人防火クラブ総人員						

總務・警防



消防庁舎の現況



消防本部・網走消防署
網走市南2条西4丁目2番地
tel 0152-43-2221 fax 45-1119

構造	規模
鉄筋コンクリート造	地下1階、地上2階建
一部ALC板張り鉄骨造	建築面積 898.551m ²
	延面積 1,712.068 m ²

南出張所
網走市字潮見172番地4
tel 0152-43-3016 fax 43-1100



構造	規模
鉄筋コンクリート造	地上2階、一部3階建 建築面積 968.49 m ² 延面積 1,171.35 m ²



大空消防署
大空町女満別西3条4丁目1番5号
tel 0152-74-2619 fax 74-4479

構造	規模
鉄筋コンクリート造	地上2階建 建築面積 699.655 m ² 延面積 1,050.216 m ²

東藻琴出張所
大空町東藻琴360番地の1
tel 0152-66-3344 fax 66-3345



構造	規模
鉄筋コンクリート造	地上2階建 建築面積 620.66 m ² 延面積 742.81 m ²

沿革

昭和46年11月

網走市、常呂町、女満別町、東藻琴村の1市2町1村で、次の機構により一部事務組合として、「網走地区消防組合」発足する

* 組合機構

議会

議長	棟方 敏郎	(網走市議會議長)
副議長	長良仙 弥	(女満別町議會議長)
議員	網走市	9名
	常呂町	3名
	女満別町	3名
	東藻琴村	2名
合計		17名

執行機関

管理者	佐藤 忠吉	(網走市長)
副管理者	上杉 武雄	(常呂町長)
	吉田 礼元	(女満別町長)
	吉田 三伊	(東藻琴村長)
	町田 耕造	(網走市助役)
収入役	庄田 剛	(網走市収入役)
監査委員		2名
公平委員		3名

消防本部・署

消防長(署長兼任)	遠藤 実
消防本部	8名
消防署	46名
常呂分署	8名
女満別分署	7名
東藻琴分署	5名
合計	74名

消防団

網走消防団	団長	田辺林蔵
	団員	255名
常呂消防団	団長	小林秀明
	団員	126名
女満別消防団	団長	武田大吉
	団員	90名
東藻琴消防団	団長	一条又次
	団員	72名
合計		543名

12月	東藻琴分署庁舎（会議室・車庫）増築 東藻琴分署 2名増員、7名とする。
昭和47年1月	常呂分署 1名増員、9名とする。
4月	消防署 2名増員、48名とする。 女満別分署 2名増員、9名とする。 東藻琴分署 1名増員、8名とする。 積載車購入、常呂消防団第2分団に配置
8月	積載車購入、東藻琴消防団第2分団に配置
11月	積載車（ウイルスジープ）購入、網走消防団第2分団に配置
12月	常呂分署及び女満別分署に無線局を開局
昭和48年2月	消防本部 1名増員、9名とする。
3月	東藻琴分署に無線局を開局
4月	消防本部 2名増員、11名とする。 消防署 2名増員、50名とする。 常呂分署 2名増員、11名とする。 小型動力ポンプ購入、常呂消防団第2分団に配置
6月	網走ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「網走ライオンズ2世号」と命名、消防本部に配置
7月	女満別分署長専任とする。 女満別ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「女満別ライオンズ号」と命名、女満別分署に配置
8月	救急自動車購入、常呂分署に配置
11月	消防ポンプ自動車購入、女満別分署に配置
昭和49年3月	木下木材工業株式会社より水槽付消防ポンプ自動車(2,500L)の寄贈を受け「木下号」と命名、消防署に配置
4月	消防本部 1名増員、12名とする。 女満別消防団団長に北山武氏就任
5月	東藻琴分署 1名増員、9名とする。 常呂分署 1名増員、12名とする。
6月	東藻琴消防団第2分団にサイレン設備設置
9月	網走消防団第5分団詰所移転新築
11月	常呂分署長専任とする。
12月	管理者に安藤哲郎氏（網走市長）就任 網走消防団第2分団詰所移転新築
昭和50年3月	西網走農業協同組合より水槽付消防ポンプ自動車(2,000L)の寄贈を受け「西網走農協号」と命名、網走消防団第2分団に配置
4月	女満別消防団分団を統合し、定員70名とする。
5月	小型動力ポンプ購入、常呂消防団第4分団に配置
6月	収入役に三段崎正弘氏（網走収入役）、消防長に大西勇氏就任

8月	消防署長に木村福造氏就任
9月	北海道共済農業協同組合連合会より救急車の寄贈を受け、女満別分署に配置
昭和51年4月	女満別分署3名増員、12名とする。
7月	ホテル オホーツク荘より予防広報査察車の寄贈を受け「ホテル オホーツク荘号」と命名、消防本部に配置
9月	水槽付消防ポンプ自動車(3,000L)及び救急自動車を購入、東藻琴分署に配置
10月	網走消防団第7分団詰所移転新築
12月	副管理者に小田島晃氏(網走市助役)、収入役に玉置文夫氏(網走市収入役)就任
	消防署長に桜庭一桜氏就任
	新橋出張所を廃止し、南出張所を新築開設
	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
昭和52年1月	網走市新町1丁目旅館新橋火災(全焼、類焼3)重軽傷者5名 土屋稔氏の寄付により人命救助器具を購入、消防署に配置
2月	網走市南1条西1丁目網走水産冷蔵株式会社火災(全焼)
3月	網走消防団第6分団を第1分団に統合。(以降昭和55年4月まで第6分団欠)
4月	消防長に神谷孫一氏就任
	消防署2名増員、52名とする。
5月	東藻琴村立明生小学校火災(全焼)
7月	東藻琴ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「東藻琴ライオンズ号」と命名、東藻琴分署に配置
8月	女満別空港で東亜国内航空機YS-11型機胴体着陸、死傷者なし。
9月	小型動力ポンプ付積載車購入、網走消防団第7分団に配置
10月	常呂ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「常呂ライオンズ号」と命名、常呂分署に配置
	水槽付消防ポンプ自動車(3,000L)購入、消防署に配置
	小型動力ポンプ付積載車購入、東藻琴分署に配置
12月	網走市南2条西3丁目網走セントラルホテルガス爆発事故。死者3名、重軽傷者12名
昭和53年4月	網走ライオンズクラブより指令車の寄贈を受け「網走ライオンズ3世号」と命名、消防本部に配置
	女満別消防団団長に富田定年氏就任
7月	宮川漁業株式会社より消防ポンプ自動車の寄贈を受け「宮川号」と命名、網走消防団第1分団に配置
8月	消防ポンプ自動車購入、網走消防団第1分団に配置 消防署、第7回全国消防救助技術大会(はしご登はん1名)に出場、入賞する。
9月	小型動力ポンプ積載車購入、女満別分署に配置 水槽付消防ポンプ自動車(3,000L)購入、女満別分署に配置

10月	女満別分署庁舎（車庫、当直室）増築
12月	田中漁業部株式会社より小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）の寄贈を受け「大雄号」と命名、消防署に配置
昭和54年2月	田辺林蔵氏、丸田巖氏の寄付により市役所塔屋に消防用サイレンを設置
4月	網走市立嘉多山小中学校火災（2教室を残し焼失）
6月	消防署長に沢井清氏就任
7月	東藻琴分署長専任とする。
8月	副管理者に鈴木芳昭氏（東藻琴村長）就任
9月	女満別病院長、長佐古尚氏より指令車の寄贈を受け「長佐古号」と命名、女満別分署に配置
11月	消防ポンプ自動車購入、網走消防団第1分団に配置
12月	常呂消防団団長に浦西三男氏就任
昭和55年1月	東藻琴分署庁舎移転新築
2月	網走消防団第3分団詰所及び第4分団詰所移転新築
4月	日本自動車工業会より救急車の寄贈を受け、常呂分署に配置
10月	東藻琴消防団団長に八重樫正人氏就任
12月	山本智氏、中村勇氏より小型動力ポンプ積載車（ジープ）の寄贈を受け、「中村山本号」と命名、網走消防団第2分団に配置
昭和56年1月	網走消防団第7分団を第6分団に改称する。
2月	消防ポンプ自動車購入、東藻琴分署に配置
4月	消防署に消防訓練塔（主塔、副塔）新設
10月	消防署2名増員、54名とする。
12月	北海道消防操法訓練大会において常呂消防団第4分団が小型ポンプ操法の部で優勝
昭和57年1月	消防署に斎藤秀信氏（常呂町長）就任
2月	東藻琴消防団第2分団格納庫新築
4月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、女満別分署に配置
6月	網走消防団団長に松井幸義氏就任
8月	消防ポンプ自動車購入、網走消防団第1分団に配置
10月	第34回北海道消防大会を網走市で開催
11月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、常呂分署に配置
昭和58年1月	常呂消防団第2分団詰所移転新築
3月	常呂消防団第2分団詰所移転新築
4月	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
6月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、東藻琴分署に配置
8月	消防署長に渡辺武氏就任
10月	東藻琴分署1名増員、10名とする。
昭和59年1月	本部に次長制を導入、次長に武田栄氏、露口功氏（兼常呂分署長）、岩原

	義久氏（兼女満別分署長）、青木伸長氏（兼東藻琴分署長）就任
9月	小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、消防署に配置
10月	東藻琴消防団、優良消防団として、北海道より表彰旗を授与される。
12月	次長に小鹿潔氏（兼女満別分署長）就任
昭和59年2月	女満別消防団、優良消防団として、日本消防協会より表彰旗を授与される。
	常呂消防団団長、浦西三男氏に日本消防協会から功績章を授与される。
5月	島田建設株式会社より指令車の寄贈を受け、消防本部に配置
8月	網走地区危険物安全協会より査察広報車の寄贈を受け、消防本部に配置
	消防署、第13回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん1組）に出場、入賞する。
9月	小林俊彦氏より常呂消防団旗の寄贈を受ける。
	網走消防団旗を新規に調製
10月	副管理者に神谷孫一氏（網走市助役）、収入役に横田徹氏（網走市収入役）就任
	消防長に中村寿氏就任
	水槽付消防ポンプ自動車（3,000L）購入、常呂分署に配置
11月	財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、東藻琴分署に配置
12月	網走消防団第1分団詰所新築
昭和60年1月	常呂漁業協同組合より指令車の寄贈を受け「常呂漁業協同組合号」と命名、常呂分署に配置
2月	常呂消防団、優良消防団として、日本消防協会より表彰旗を授与される。
3月	日本損害保険協会より救急自動車の寄贈を受け、女満別分署に配置
	天都山自動無線中継所完成し開局
4月	女満別分署1名増員、13名とする。
	美幌地区危険物安全協会より女満別分署にミニバイク（50cc）1台が寄贈される。
8月	小型動力ポンプ付積載車購入、常呂消防団第3分団に配置
	日本損害保険協会より救助工作車の寄贈を受け、消防署に配置
	日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
	消防署、第14回全国消防救助技術大会（高所人命救助、ロープブリッジ救援各1組）に出場、入賞する。
10月	東藻琴消防団員の篤志により3B型救急自動車を購入、東藻琴分署に配置
11月	常呂消防団第3分団詰所移転新築
	女満別分署新築落成、通信指令装置（NEC・3D-201E・C型）導入運用開始
12月	富田定年氏より女満別消防団旗の寄贈を受ける。
昭和61年3月	消防署、救急指令装置（JRC電子式・B型）・消防団緊急伝達システムを導入運用開始
	網走消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。

	常呂消防団団長、浦西三男氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。
7月	第1回「母と子の防火大会」を網走市で開催
9月	東藻琴消防団第2分団サイレン塔及びサイレン新設
10月	マイクロバス（定員29名）購入、常呂分署に配置 網走消防団第5分団詰所移転新築
昭和62年3月	東藻琴分署通信指令装置（ACE-12K）運用開始 小型動力ポンプ付大型水槽車（10,000L）購入、東藻琴分署に配置
4月	副管理者に横田徹氏（網走市助役）就任 収入役に三代川幹夫氏（網走市収入役）就任 組合議員定数を2名減（網走）、15名とする。
5月	副管理者に岩原市男氏（女満別町長）就任
7月	次長に久野明氏（兼東藻琴分署長）就任
8月	消防署、第16回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん1組）に出場、入賞する。
10月	水槽付消防ポンプ自動車II型（3,000L）購入、消防署に配置 化学消防ポンプ自動車III型（水2,500L・薬液1,200L）購入、女満別分署に配置
11月	常呂消防団団長に野辺真一氏就任
12月	湊自動車工業株式会社より査察広報車の寄贈を受け、消防署に配置 東藻琴消防カルチャーセンター新築
昭和63年3月	網走消防団団長、松井幸義氏に日本消防協会から特別功労章を授与される。 常呂消防団団長、野辺真一氏に日本消防協会から功績章を授与される。 常呂消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。
4月	次長に武田満雄氏（兼女満別分署長）就任 網走消防団団長に鎌田誠二郎氏就任
6月	ミニ消防車を制作「わんぱく君」と命名、消防署に配置
7月	八重樫正人氏より東藻琴消防団旗の寄贈を受ける。 北海道消防操法訓練大会において東藻琴消防団がポンプ車操法の部で準優勝 女満別ライオンズクラブより広報車の寄贈を受け「女満別ライオンズ号」と命名、女満別分署に配置
8月	消防署、第17回全国消防救助技術大会（高所人命救助1組）に出場、入賞する。
9月	消防団活性化総合整備事業により、消防団災害機材運搬車（4WD）購入、 東藻琴消防団第2分団に配置 救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、消防署に配置
10月	消防団活性化総合整備事業により、消防団指揮広報運搬車購入、東藻琴消防団第1分団に配置 小型動力ポンプ付積載車購入、常呂消防団第4分団に配置
12月	常呂消防団第4分団詰所移転新築

平成元年3月	女満別消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。 渡辺清氏より指令車の寄贈を受け「渡辺号」と命名、女満別分署に配置 東藻琴消防団団長、八重樫正人氏に消防庁長官から功労章を授与される。 ふるさと消防団活性化助成事業により、携帯無線機（1W5台）、衛星放送受信設備購入、東藻琴消防団第1分団に配置
4月	消防長に松田仁男氏就任 次長に崎山義輝氏（兼東藻琴分署長）就任
8月	消防署、第18回全国消防救助技術大会（はしご登はん1名）に出場、入賞する。 常呂漁業協同組合より消防ポンプ自動車の寄贈を受け「常呂漁業協同組合号」と命名、常呂消防団第2分団に配置
9月	東藻琴分署、有線遠隔サイレン吹鳴装置完成、運用開始 小型動力ポンプ付積載車（全自動4WD）3台購入、網走消防団第3、第4、第5分団に配置
10月	次長に安田常夫氏（兼常呂分署長）就任 北海道救急医療情報システム運用開始
12月	消防ポンプ自動車購入、女満別消防団第1分団に配置
平成2年2月	東藻琴消防団、優良消防団として、日本消防協会より表彰旗を授与される。 網走消防団団長、鎌田誠二郎氏、女満別消防団団長、富田定年氏に日本消防協会から功績章を授与される。
4月	常呂分署、有線遠隔サイレン吹鳴装置完成、運用開始 消防署2名増員、56名とする。 常呂分署1名増員、13名とする。 東藻琴分署1名増員、11名とする。
5月	救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、常呂分署に配置
6月	ミニはしご車を制作「のっぽ君」と命名、消防署に配置
7月	第2回「母と子の防火大会」（網走市防火委員会設立10周年記念）を網走市で開催
8月	消防署長に玉置光正氏就任
9月	小型動力ポンプ付積載車（全自動4WD）購入、網走消防団第2分団に配置
10月	はしご付消防ポンプ自動車（30m級）購入、消防署に配置 全国婦人消防操法大会（軽可搬ポンプ操法）において、卯原内婦人消防隊が優秀賞を受賞する。 網走市緊急通報システム（通称ふれあいコール）運用開始（受信センター、消防署通信指令室）
11月	日本消防協会より救急自動車の寄贈を受け、消防署に配置
平成3年2月	小型動力ポンプ付積載車購入、女満別消防団第1分団に配置
3月	東藻琴消防団、優良消防団として、消防庁長官から竿頭綬を授与される。
4月	副管理者に山田保氏（網走市助役）就任

	次長に福井新一氏（兼女満別分署長）就任 女満別分署 1名増員、14名とする。 網走地区防火管理協議会発足する。（会員数155団体）								
5月	副管理者に宇野勝男氏（女満別町長）就任								
7月	消防団条例を改正し、消防団員の定員を543名とし、次のとおりの編成とする。 <table style="width: 100%;"><tbody><tr><td style="width: 40%;">網走消防団</td><td style="width: 60%;">265名</td></tr><tr><td>常呂消防団</td><td>126名</td></tr><tr><td>女満別消防団</td><td>80名</td></tr><tr><td>東藻琴消防団</td><td>72名</td></tr></tbody></table>	網走消防団	265名	常呂消防団	126名	女満別消防団	80名	東藻琴消防団	72名
網走消防団	265名								
常呂消防団	126名								
女満別消防団	80名								
東藻琴消防団	72名								
9月	救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、女満別分署に配置								
10月	網走消防団10名、女満別消防団10名、東藻琴消防団 7名の女性消防団員を採用 中台貞子氏より広報車の寄贈を受け、常呂分署に配置 北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車（4WD）の寄贈を受け、常呂分署に配置								
11月	指揮広報車購入、女満別分署に配置 救助資機材（油圧スプレッダー、カッター）購入、東藻琴分署に配置 常呂消防団10名の女性消防団員を採用								
12月	小型動力ポンプ積載車購入、常呂消防団第1分団に配置 網走消防団第6分団詰所新築 小型動力ポンプ付積載車（全自動4WD）購入、網走消防団第6分団に配置								
平成4年1月	ふるさと消防団活性化助成事業により、液晶ビジョン機器一式購入、網走消防団に配置								
4月	次長に疋田政治氏（兼女満別分署長）就任 常呂消防団団長に阿部只義氏就任								
5月	東藻琴分署 1名増員、12名とする。 湊自動車工業株式会社より広報車の寄贈を受け、消防署に配置								
10月	次長に千葉豊克氏（兼常呂分署長）就任 水槽付消防ポンプ自動車II型（3,000L）購入、消防署に配置								
12月	次長に島田弘嗣氏（兼東藻琴分署長）就任 網走消防団団長、鎌田誠二郎氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。								
平成5年3月	消防署 4名増員、60名とする。 常呂分署 2名増員、15名とする。 女満別分署 1名増員、15名とする。 東藻琴分署 1名増員、13名とする。 副管理者に大場脩氏（網走市助役）就任 収入役に佐々木信夫氏（網走市収入役）就任								

	参与に成田公義氏就任								
5月	網走消防公設100年を記念し、網走市桂ヶ岡公園に記念碑を建立								
6月	「網走消防公設100年記念式典」を挙行、併せて「市民防火の集い（日本防火協会共催）」を網走市で開催								
7月	網走ライオンズクラブより広報車の寄贈を受け、消防署に配置								
8月	副管理者に井上和夫氏（常呂町長）就任 消防署、第22回全国救助技術大会（ロープブリッジ救出1組）に出場、入賞する。								
9月	次長に斎藤実氏（兼常呂分署長）就任 日本消防協会より消防用車両の寄贈を受け、網走消防団本部に配置								
10月	消防長に成田公義氏就任								
11月	東藻琴消防団長、八重樫正人氏に自治大臣から消防功労者表彰を授与される。								
12月	水槽付消防ポンプ自動車II型（6,000L）購入、東藻琴分署に配置 救助資機材（重量物排除用器具、マット式空気ジャッキ）購入、消防署に配置								
平成6年3月	消防本部・網走消防団、優良消防機関として、消防庁長官から表彰旗を授与される。								
4月	消防署2名増員、62名とする。 常呂分署1名増員、16名とする。 女満別分署1名増員、16名とする。 東藻琴分署1名増員、14名とする。 消防団条例を改正し、消防団員の定員を532名とし、次のとおりの編成とする。 <table><tbody><tr><td>網走消防団</td><td>265名</td></tr><tr><td>常呂消防団</td><td>115名</td></tr><tr><td>女満別消防団</td><td>80名</td></tr><tr><td>東藻琴消防団</td><td>72名</td></tr></tbody></table>	網走消防団	265名	常呂消防団	115名	女満別消防団	80名	東藻琴消防団	72名
網走消防団	265名								
常呂消防団	115名								
女満別消防団	80名								
東藻琴消防団	72名								
	次長に玉置光正氏就任								
	次長に東海秀昭氏（兼女満別分署長）就任								
	消防署長に大西正美氏就任								
11月	日本損害保険協会より水槽付消防ポンプ自動車II型（2,000L、4WD）の寄贈を受け、消防署に配置 北海道共済農業協同組合連合会より救急自動車（4WD）の寄贈を受け、女満別分署に配置								
12月	網走消防団第2分団詰所移転新築 女満別分署、有線遠隔サイレン吹鳴装置完成、運用開始 高規格救急自動車（4WD）購入、東藻琴分署に配置								
平成7年3月	水槽付消防ポンプ自動車II型（6,500L）購入、女満別分署に配置								
4月	常呂分署1名増員、17名とする。								

	女満別分署 1名増員、17名とする。 東藻琴分署 1名増員、15名とする。
4月	次長に大西正美氏就任 消防署長に池田均氏就任
6月	財団法人日本防火協会より防火広報車の寄贈を受け、消防署に配置
7月	次長に山口保久氏（兼東藻琴分署長）就任
8月	北海道消防操法訓練大会において女満別消防団がポンプ車操法の部で準優勝 消防署、第24回全国消防救助技術大会（ロープ応用登はん1組）に出場、入賞する。
11月	高規格救急自動車（4WD）及び高度救命処置用資機材一式購入、消防署に配置 消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成8年1月	東藻琴消防団団長に森比三夫氏就任
3月	女満別消防団団長、富田定年氏に消防庁長官から功労章を授与される。 常呂消防団団長、阿部只義氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。
4月	化学消防ポンプ自動車Ⅲ型（水1,500L、薬液1,200L）購入、消防署に配置 次長に北野護氏（兼常呂分署長）就任
8月	次長に疋田政治氏（兼女満別分署長）就任 北海道防災総合訓練を網走市で開催
11月	網走消防団団長に遠藤隆也氏就任
12月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成9年3月	前網走消防団団長、鎌田誠二郎氏より指揮広報車の寄贈を受け、「鎌田号」と命名、消防署に配置
4月	網走消防団第4分団（湖南）にサイレン塔新設 副管理者に柴崎正則氏（網走市助役）就任
	収入役に鈴木雅宣氏（網走市収入役）就任
	次長に池田均氏（兼消防署長）就任
	次長に崎山秀昭氏（兼東藻琴分署長）就任
5月	常呂分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
9月	東藻琴分署において救急救命士1名を配置
10月	防火広報車購入、東藻琴分署に配置
12月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成10年1月	救助工作車Ⅱ型（4WD、クレーン、ウィンチ付）購入、消防署に配置
	消防ポンプ自動車（CD-II型4WD）購入、東藻琴消防団第1分団に配置
3月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（2,000L、4WD）購入、女満別消防団第1分団に配置
4月	女満別分署職員1名増員、18名とする。 女満別消防団団長に岩原繁弘氏就任
9月	東藻琴分署において救急救命士1名を配置 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、網走消防団第2分

	団に配置
10月	「女満別消防発足80周年記念式典」を挙行
11月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
12月	管理者に大場脩氏（網走市長）就任 常呂分署及び常呂消防団第1分団、消防庁舎移転新築併せて、通信指令情報システム導入、運用開始
平成11年2月	消防長に池田均氏就任 次長に金井邦彦氏（兼消防署長）就任 小型動力ポンプ付水槽車II型（10,000L）購入、消防署に配置
3月	「女満別消防80年のあゆみ」発刊 常呂消防団、優良消防団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 東藻琴分署、通信指令情報システム導入、運用開始 網走消防団第2分団（能取）にサイレン塔新設
4月	副管理者に鈴木雅宣氏（網走市助役）就任 収入役に長崎昇司氏（網走市収入役）就任 副管理者に小島忠和氏（東藻琴村長）就任 消防署において救急救命士業務の完全運用開始
7月	東藻琴分署において救急救命士業務の完全運用開始 北海道消防操法訓練大会において常呂消防団がポンプ車操法の部で優勝
8月	副管理者に井原久敏氏（常呂町長）就任
11月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。 女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
12月	網走消防団第5分団にサイレン塔新築 女満別消防団団長、岩原繁弘氏に消防庁長官から永年勤続功労章を授与される。
平成12年3月	水難救助資機材一式購入、消防署に配置 医療法人社団網走中央病院より救急医療業務普及推進車の寄贈を受け、消防署に配置
4月	小型動力ポンプ付水槽車II型（10,000L）購入、東藻琴分署に配置 有珠山噴火災害に対して、北海道広域消防相互応援協定に基づく広域応援隊（10名）を派遣
7月	「母と子の防火大会」（網走市防火委員会設立20周年記念）を網走市で開催
9月	消防本部に、広域消防相互応援の功労として、消防庁長官から褒状を授与される。
10月	女満別分署において救急救命士業務の完全運用開始
	水難救助車（4WD、マリンレスキュー）を購入、消防署に配置
11月	消防署において水難救助隊の運用開始 女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
12月	消防署 防災備蓄庫新築 水槽付消防ポンプ自動車II型（6,500L）購入、常呂消防団第1分団に配置
平成13年1月	消防署 消防訓練塔（7階建）新築
2月	

3月	女満別消防団、優良消防団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 指揮広報車（4WD）購入、東藻琴消防団第1分団に配置								
4月	消防団条例を改正し、消防団員の定員を517名とし、次のとおりの編成とする。 <table style="width: 100%;"><tbody><tr><td style="width: 40%;">網走消防団</td><td style="width: 60%;">265名</td></tr><tr><td>常呂消防団</td><td>100名</td></tr><tr><td>女満別消防団</td><td>80名</td></tr><tr><td>東藻琴消防団</td><td>72名</td></tr></tbody></table> 消防長に吉田智彰氏（兼次長）就任 消防署長に草苅敏郎氏就任 消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。	網走消防団	265名	常呂消防団	100名	女満別消防団	80名	東藻琴消防団	72名
網走消防団	265名								
常呂消防団	100名								
女満別消防団	80名								
東藻琴消防団	72名								
7月	小型動力ポンプ付水槽車II型（10,000L）購入、女満別分署に配置								
10月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車の寄贈を受け、高規格仕様を施し消防署に配置								
平成14年3月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。 常呂消防団団長、阿部只義氏に消防庁長官から功労章を授与される。 日本損害保険協会より高規格救急自動車（4WD）の寄贈を受け、女満別分署に配置								
4月	高度救命処置用資機材一式購入、女満別分署に配置 消防署南出張所廻舎移転新築し、運用開始 次長に森純一氏（兼女満別分署長）就任 女満別分署、東藻琴分署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。								
11月	女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。								
平成15年2月	常呂消防団団長、阿部只義氏、東藻琴消防団長、森比三夫氏に日本消防協会から功績章を授与される。								
3月	東藻琴消防団、優良消防団として消防庁長官から表彰旗を授与される。 消防署において通信指令システム（I型）導入、運用開始。								
4月	次長に草苅敏郎氏（兼消防署長）就任 次長に今井重吉氏（兼常呂分署長）就任 消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。								
5月	常呂分署において救急救命士1名配置 網走ライオンズクラブより指揮広報車の寄贈を受け、消防署に配置する。								
6月	副管理者に山下英二氏（女満別町長）就任								
10月	消防署において救急隊員2名が救急救命士の国家資格を取得する。 高規格救急自動車（4WD S）及び高度救命処置用資機材一式購入、常呂分署に配置								
平成16年3月	網走消防団第3分団詰所・サイレン塔新築 財団法人網走監獄保存財団よりマイクロバス（4WD、29人乗り）の寄贈								

	を受け、消防署に配置する。
4月	東藻琴分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
	消防長に竹内道生氏就任
8月	消防署から第33回全国消防救助技術大会（はしご登はん）に出場し、入賞する。
10月	消防署において救急隊員2名が救急救命士の国家資格を取得する。
	女満別分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
平成17年2月	網走消防団団長、遠藤隆也氏に日本消防協会から功績章を授与される。
3月	網走消防団第4分団詰所・サイレン塔新築
4月	組合規約を改正し、副管理者の定数を3名として、網走市に属する副管理者を廃止する。
	収入役に鈴木雅宣氏（網走市助役：収入役事務兼掌者）就任
7月	常呂分署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
10月	北海道消防操法大会に東藻琴消防団が出場する。
	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車の寄贈を受け、高規格仕様を施し東藻琴分署に配置
11月	網走消防団第2分団（第2卯原内）にサイレン塔新設
平成18年3月	消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
	組合構成町の常呂町が北見市との合併により組合を脱退し、1市1町1村の構成となり、副管理者を2名とする。
	組合構成町村の女満別町と東藻琴村が合併し大空町となり、1市1町の構成となり、副管理者を1名とする。
	女満別分署を大空消防署、東藻琴分署を大空消防署東藻琴出張所とする。
	網走地区消防組合消防署を網走地区消防組合網走消防署とする。
	大空消防署長に森純一氏就任
	全日本消防人共済会から小型動力ポンプ積載車の寄贈を受け、網走消防団第2分団に配置
4月	消防長に小坂繁一氏就任
	網走消防団団長に松井丈氏就任
	東藻琴消防団第2分団を統合し、第1分団第3部とする。
7月	北海道消防操法大会において網走消防団がポンプ車操法の部で優良賞を受賞する。
平成19年4月	組合規約を改正し、副管理者の定数を2名として、網走市に属する副管理者を設置する。
	副管理者に鈴木雅宣氏（網走市副市長）就任
	網走消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
10月	全国共済農業協同組合連合会北海道本部より救急自動車の寄贈を受け、高規格仕様を施し網走消防署に配置
12月	次長に高岡正治氏（兼網走消防署長）就任
平成20年1月	大空消防署において通信指令装置導入・運用開始
	東藻琴消防団団長に原紺盛雄氏就任

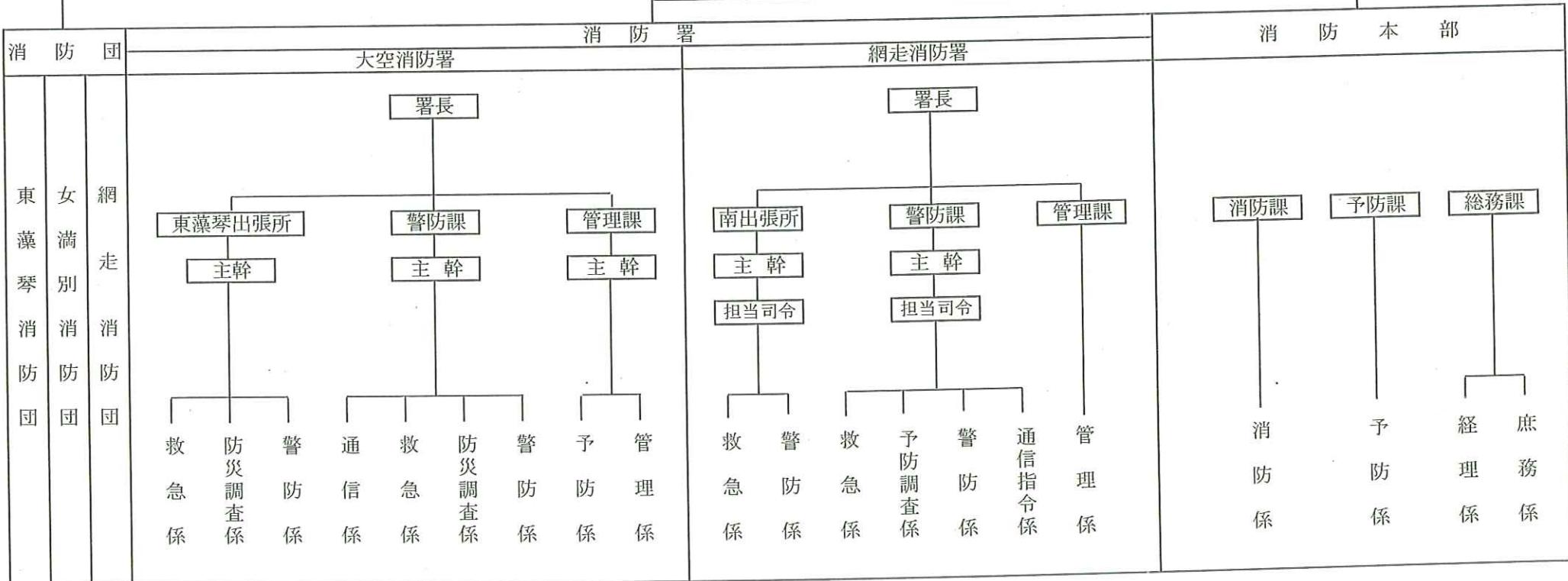
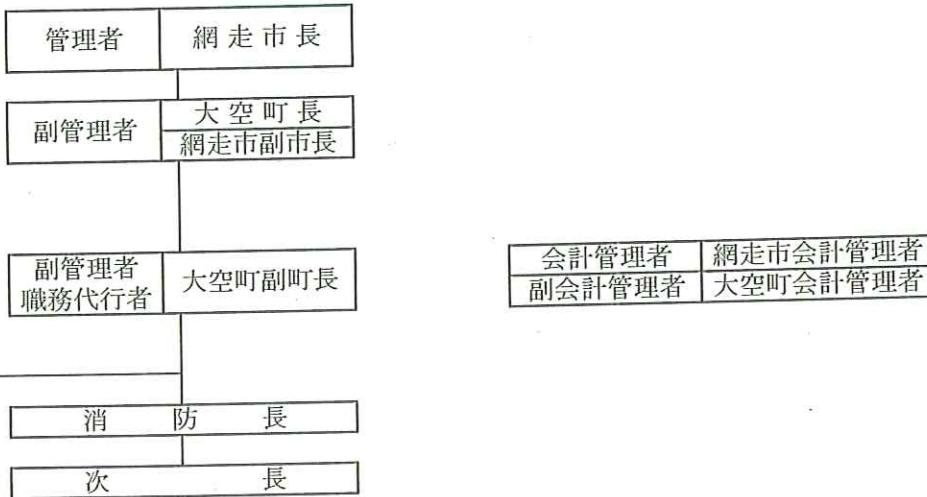
平成20年 4月	消防長に吉野守氏就任 網走消防署において都市型救助資器材の運用開始 網走消防署、大空消防署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。
7月	北海道洞爺湖サミット消防特別警戒隊として、大型水槽車(隊員4名)を派遣
8月	網走消防署(ロープブリッジ救出)及び大空消防署(ロープ応用登はん)から第37回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
9月	北海道洞爺湖サミット消防特別警戒の功労として、消防庁長官から消防本部へ褒状が授与される。
10月	先端屈折式はしご付消防ポンプ自動車(30m級)を購入、網走消防署南出張所に配置
平成21年 4月	副管理者に大澤慶逸氏(網走市副市長)就任 次長に石田良和氏(兼網走消防署長)就任 網走消防団に女性分団(チーム・クリオネ)新設 網走消防署、大空消防署において救急隊員各1名が救急救命士の国家資格を取得する。
8月	大空消防署(ロープ応用登はん)から第38回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
12月	消防ポンプ自動車(CD-II型)を購入し、大空消防署に配置
平成22年 1月	C A F S搭載水槽付消防ポンプ自動車を購入し、網走消防署に配置
4月	消防長に本間典勝氏就任 大空消防署長に旭敏男氏就任 網走消防署において救急隊員3名、大空消防署において救急隊員1名が救急救命士の国家資格を取得する。
7月	組合議員定数を1名減(大空)、11名とする。
8月	網走消防署(ロープブリッジ救出)及び大空消防署(ロープ応用登はん)から第39回全国消防救助技術大会に出場し、入賞する。
9月	総務省消防庁より消防団救助資機材搭載型車両の無償貸与を受け、網走消防団に配置
10月	高規格救急自動車を購入し、網走消防署南出張所に配置
12月	管理者に水谷洋一氏(網走市長)就任
平成23年 3月	東日本大震災により緊急消防援助隊(北海道第6次派遣隊)として、網走消防署から隊員2名を被災地(宮城県石巻市)へ派遣
4月	東日本大震災により緊急消防援助隊(北海道第11次派遣隊)として、網走消防署から隊員5名、大空消防署から隊員2名を被災地(宮城県石巻市)へ派遣

網走地区消防組合機構図

組合議会 網走市(7名)
(11名) 大空町(4名)

監査委員 (2名)

公平委員 (3名)



2表 平成23年度組合予算

歳入				歳出			(単位:千円)	
款	項	金額	構成比%	款	項	金額	構成比%	
分担金及び負担金		1,037,624	93.2	議会費		508	0.1	
	負担金	1,037,624			議会費	508		
使用料及び手数料		300	0.4	消防費		1,068,473	95.9	
	手数料	300			消防費	87,277		
財産収入		4			監査委員費	62		
	財産運用収入	4			常備消防費	826,246		
繰入金		2,100			非常備消防費	66,103		
	基金繰入金	2,100			消防施設費	88,785		
繰越金		300	6.4				3.9	
	繰越金	300						
諸収入		1,829	公債費		43,676			
	預金利子	100		公債費	43,676			
	雑入	1,729	予備費		500	0.1		
組合債		71,000		予備費	500			
	組合債	71,000						
歳入合計		1,113,157	100.0	歳出合計		1,113,157	100.0	

3表 平成23年度構成市町予算と組合予算との比較

(単位:千円)

区分 市町名	一般会計予算額	組合予算額	比率
網走市	22,255,841	750,639	3.4%
大空町	7,325,957	362,518	4.9%
合計	29,581,798	1,113,157	3.8%

4表 人口・世帯数に対する組合予算

区分 市町名	予算額 (千円)	人 口 (人)	1人当りの予算額 (円)	世帯数 (世帯)	1世帯当りの予算額 (円)
網走市	750,639	38,734	19,379	18,258	41,113
大空町	362,518	8,138	44,546	3,137	115,562
合 計	1,113,157	46,872	23,749	21,395	52,029

注 人口・世帯数は平成23年3月31日現在の住基台帳による。

5表 組合予算の推移

区分 年度	組合予算額 (千円)	1人当りの予算額 (円)	1世帯当りの予算額 (円)
平成22年度	1,128,646	23,887	52,812
平成21年度	1,305,506	27,504	61,314
平成20年度	1,290,444	26,887	60,479
平成19年度	1,154,516	23,772	54,162
平成18年度	1,114,549	22,738	52,588
平成17年度	1,372,629	25,308	59,744
平成16年度	1,557,026	28,435	67,720
平成15年度	1,439,997	26,076	62,516
平成14年度	1,527,915	27,460	66,721
平成13年度	1,745,198	31,127	76,400

6表 職 員 配 置 状 況

()内は兼任数

所 属	区分 階級	消防吏員							合 計
		監	司 令 長	司 令	司 令 補	士 長	副 士 長	士 見 習	
消防本部	消防長	1							1
	次長		1						1
	総務課			1	1(1)	2			4(1)
	消防課			1	1	1			3
	予防課			(1)	1	1			2(1)
小 計		1	1	2(1)	3(1)	4			11(2)
消防署	署長		(1)						(1)
	管理課			1					1
	管理係				1	2			3
	警防課・主幹・司令			7					7
	警防係				2	4		4	10
	予防調査係				2	5		3	10
	救急係				2	5			7
	通信指令係				2	2		2	6
	南出張所・主幹・司令			3(1)					3(1)
	南出張所警防係				2	2(2)			4(2)
	南出張所救急係				2	5			7
小 計			(1)	11(1)	13	25(2)		9	58(4)
大空消防署	署長		1						1
	管理課・主幹		(1)	2					2(1)
	管理係			(1)		2		1	3(1)
	予防係				1	2			3
	警防課・主幹			5					5
	警防係			(1)		3		1	4(1)
	防災調査係			(1)		2		1	3(1)
	救急係			(1)		1			1(1)
	通信係			(1)					(1)
	出張所・主幹			4					4
小 計			1(1)	11(8)	2	16		4	34(9)
合 計		1	2(2)	24(10)	18(1)	45(2)		13	103(15)

7表 年令別消防職員

階級 年令	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	士見習	合計
20歳未満							4		4
20歳以上25歳未満							7		7
25歳以上30歳未満					10		1		11
30歳以上35歳未満					11				11
35歳以上40歳未満				1	18				19
40歳以上45歳未満			1	1	3		1		6
45歳以上50歳未満			5	8	2				15
50歳以上55歳未満			9	6	1				16
55歳以上	1	2	9	2					14
平均年令	58.0	58.5	52.5	49.1	34.7		22.4		40.5
合計	1	2	24	18	45		13		103

8表 勤続年数別消防職員

階級 勤続年数	監	司令長	司令	司令補	士長	副士長	士	士見習	合計
5年未満	1				1		12		14
5年以上10年未満					6		1		7
10年以上15年未満					13				13
15年以上20年未満			2		17				19
20年以上25年未満				3	5				8
25年以上30年未満			6	5	2				13
30年以上35年未満			7	7	1				15
35年以上		2	9	3					14
平均勤続年数	1.0	39.0	32.1	30.1	15.2		1.5		20.4
合計	1	2	24	18	45		13		103

9表 消防団員配置状況

階級 所属	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計	
								女性	女性
網走消防團	本部	1	4	1	2	1	1	11	11
	女性分團			1	1	2	2	2	20
	第1分團			1	2	4	12	61	80
	第2分團			1	2	3	6	24	36
	第3分團			1	1	2	4	21	29
	第4分團			1	1	2	4	19	27
	第5分團			1	1	2	4	21	29
	第6分團			1	1	2	4	17	25
	小計	1	4	8	11	18	2	178	257
女消防團	本部	1	2	1	2	1	3	7	17
	第1分團			1	2	4	8	48	63
	小計	1	2	2	3	6	11	55	80
東消防團	本部	1	1	1	1	2	1	6	14
	第1分團			1	1	3	6	34	45
	小計	1	1	2	2	5	1	40	59
合計		3	7	12	1	29	4	273	38

10表 年令別消防団員

年令	團長	副團長	分團長	副分團長	部長	班長	團員	合計	
								女性	女性
20歳未満								1	1
20歳以上25歳未満								13	13
25歳以上30歳未満								28	28
30歳以上35歳未満								62	62
35歳以上40歳未満					1	6	68	9	75
40歳以上45歳未満					3	13	52	4	68
45歳以上50歳未満				2	7	14	26	3	49
50歳以上55歳未満			1	3	10	13	16	5	43
55歳以上	3	7	11	1	11	8	10	1	57
平均年令	65	62	59	56	50	57	48	49	42
合計	3	7	12	1	16	29	56	5	386

11表 勤続年数別消防団員

階級 勤続年数	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性	女性
5年未満						2	99	13 101 13
5年以上10年未満						3 1 61 9 64 10		
10年以上15年未満						9 2 52 5 61 7		
15年以上20年未満			1 1 2 1 8 4 17 2 30			58 8		
20年以上25年未満				1	2	12	20	35
25年以上30年未満		1	1	3	17	11	10	43
30年以上35年未満	1		4	6	1	2	1	15
35年以上	2	6	6	4	1			19
平均勤続年数	40	39	33 18 29 18 25 19 20	14 8 5 14 8				
合計	3	7	12 1 16 1 29 4 56	5 273 27	396 38			

12表 消防団員任免状況

区分 所属	任用		退職		昇格		合計	
		女性		女性		女性		女性
網走消防団	本部				1			1
	女性分団			1 1				1 1
	第1分団	6		2		5		13
	第2分団			2				2
	第3分団	2						2
	第4分団	2		1				3
	第5分団			1		3		4
	第6分団			1		2		3
	小計	10		8 1 11			29	1
女消防別団	本部							
	第1分団	8						8
	小計	8						8
東消防琴団	本部	2	2				2	2
	第1分団							
	小計	2	2				2	2
合計	20	2	8 1 11			39	3	

13表 平成22年度研修状況

区分		所属	網走	大空	計
消防学校	職員	初任教育	4	1	5
		警防科			0
		予防查察科			0
		危険物科			0
		火災調査科	1	1	2
		救急科	1	1	2
		救助科	1		1
		新任消防長研修	1		1
		幹部科		2	2
	特別教育	消防ポンプ操作法指導員課程			0
		はしご自動車運用課程	2		2
		気管挿管講習			0
		薬剤投与講習	2	1	3
		追加・講習(病院実習)			0
	気管挿管再認定講習		1	1	2
	団員	基礎教育	2		2
		女性教育	2		2
		幹部教育	2	2	4
大学校	総合教育	幹部科	1	1	2
		上級幹部科			0
		新任消防長・学校長科	1		1
		消防団長科			0
	専科教育	警防科			0
		予防科			0
		救急科			0
		救助科			0
		新任教官科			0
	実務講習				0
	救急救命東京研修所				0
	救急救命九州研修所(薬剤)				0
	北海道市町村職員研修			1	1
	合 計			22	10
					31



14表 消防車両保有状況

区分 所属	車両別	シャーシ名 車両型式	エンジン	登録番号	ポンプ 型式		購入年月	車令	水槽(薬液) 容量:リットル	無線番号	呼称
						級別					
消防本部・網走消防署	水槽車	日野BDG-FR1APYA改	ディーゼル	北見800は628	モリタME-5	A-2	H22.1	1.3	6500(45)	網走タンク1	タンク1号車
	"	イスズU-CVR70K改	ディーゼル	北見88は414	モリタME-5	A-2	H4.10	18.6	3,000	"2	タンク2号車
	"	ヒノU-FT3HGAL改	ディーゼル	北見88は565	日機式V3000	A-1	H6.10	16.6	2,000	"3	"3号車
	"	イスズP-CVR17K改	ディーゼル	北88さ1571	モリタME-5	A-2	S62.10	23.6	3,000	"4	"4号車
	大型水槽車	イスズKC-CXZ81K2改	ディーゼル	北見88は867	トーハツV75EM	B-2	H11.1	10.3	10,000	網走水槽1	水槽1号車
	"	ヒノK-FS600AD改	ディーゼル	北88さ1320	ラビットP-404S	B-3	S58.10	27.6	"	"2	"2号車
	はしご車	日野BDG-PR1APYF	ディーゼル	北見800は569	モリタEM-C	"	H20.10	2.6		網走はしご1	はしご1号車
	化学生車	イスズU-CVR70	ディーゼル	北見88は683	モリタME-5	"	H8.3	15.1	1,500(1,200)	網走化学1	化学1号車
	救助工作車	" KC-FTS33H4	ディーゼル	北見88は811			H10.1	13.3		網走救助1	救助工作1号車
	高規格救急車	トヨタGBF-TRH226S	ガソリン	北見830や119			H19.9	3.6		網走救急1	救急1号車
網走	高規格救急車	トヨタTRH-TRH8045	ガソリン	北見830ろ119			H22.10	0.5		"2	"2号車
	高規格救急車	" GE-VCH28S	ガソリン	北見830な119			H13.10	9.6		"3	"3号車
	指揮広報車	" KC-LH125B	ディーゼル	北見88そ2197			H9.3	14.1		網走指揮1	指揮広報1号車
	指令車	" E-GX70G改	ガソリン	北見88ま416			H5.5	17.11		"2	指令1号車
	"	" TA-ACR40W	ガソリン	北800さ1475			H15.5	7.11		"3	"2号車
	広報車	" R-ET176V改	ガソリン	北見88ま308			H5.6	17.10		網走広報1	広報1号車
	防火広報車	" Z-RZH112V改	ガソリン	北見88そ1598			H7.6	15.10		網走2	防火広報1号車
	応急手当普及車	" GF-RCH47W	ガソリン	北見800さ397			H12.3	11.1		網走救急4	普及推進号
	マイクロバス	ニッサンKK-BHW改	ディーゼル	北見800さ1687			H16.2	7.2		災対1	災害対応多目的車
	資機材搬送車	" KG-LRMD22	ディーゼル	北見800さ651			H12.9	10.7		網走1	資機材搬送1号車
網走消防団	ミニ消防車	スバルV-KS4	ガソリン	北見480あ6336			H20.4	3.0			わんぱく君
	ポンプ車	ニッサンK-CM90C改	ディーゼル	北88せ779	モリタME-5	A-2	S54.8	31.8		網走ポンプ2	第1分団1号車
	"	" "	ディーゼル	北88せ912	"	"	S53.8	32.8		"3	"2号車
	"	" CM90E改	ディーゼル	北88せ755	"	"	S53.6	32.20		"4	"3号車
	資機材車	イスズBKG-NHS85A	ディーゼル	北見800さ3118	トーハツVF63AS	B-2	H22.9	0.6		網走資機材1	"4号車
	積載車	ミツビシU-FG337E改	ディーゼル	北見88そ488	シバウラB-715	B-2	H2.9	20.7		卯原内2	第2分団付積載
	"	ニッサンTC-SH4F23	ガソリン	北見830も119	シバウラSF-756MZ	"	H18.3	5.1		"3	"嘉多山積載
	"	トヨタGB-YY101改	ガソリン	北見88そ2703	フジロビンP555SM	"	H10.9	12.7		能取1	"能取積載
	"	ミツビシP-FG335E改	ディーゼル	北見88そ305	シバウラB-715	"	H1.9	21.7		北浜1	第3分団付積載
	"	" "	ディーゼル	北見88そ304	"	"	"	21.7		呼人1	第4分団付積載
	"	" "	ディーゼル	北見88そ306	"	"	"	21.7		藻琴1	第5分団付積載
	"	" U-FG337E改	ディーゼル	北見88そ718	"	"	H3.12	19.3		浦士別1	第6分団付積載

区分 所属	車両別	シャーシ名 車両型式	エンジン	登録番号	ポンプ		購入年月	車令	水槽(薬液) 容量:リットル	無線番号	呼称
					型式	級別					
大空消防署	化 学 車	ヒノPK-FR2PPWA改	ディーゼル	北見830ま 119	モリタME-7A	A-1	H17.2	6.2	4,000(2,000)	大空化学1	化 学 車
	水 槽 車	ヒノU-FS3FMB改	ディーゼル	北見88は 586	モリタME-5	A-2	H7.3	16.1	6,500	大空タンク23	部 車
	高規格救急車	ニッサンGE-FLWGE50改	ガソリン	北見800さ 1116			H14.3	9.1		大空救急1	救 急 車
	救 急 車	トヨタU-LHI29S	ディーゼル	北見88そ 1392			H6.10	16.6		大空救急2	救 急 車
	指 令 車	ニッサンE-FGNY32改	ガソリン	北見830ほ 119			H8.7	14.9		大空指令1	指 令 車
	指揮広報車	〃 Q-KRMGE24改	ディーゼル	北見88そ 696			H3.11	19.5		大空指揮1	指 挥 広 報 車
	水 槽 車	ヒノU-FS3FMBA改	ディーゼル	北見88は 498	モリタME-5	A-2	H5.12	17.4	6,000	東藻琴タンク11	号 車
	大型水槽車	ミツビシP-FV416JD改	ディーゼル	北88さ 1532	ラビットP-503	B-2	S62.3	24.1	10,000	東藻琴水槽22	号 車
	大型水槽車	ヒノKC-FS4FPFA	ディーゼル	北見800は 68	トーハツV68ASX	B-2	H12.3	11.1	10,000	東藻琴水槽13	号 車
	防 火 広 報 車	ニッサンKG-VWMGE24	ディーゼル	北見45せ 9072			H9.10	13.6		東藻琴広報1	広 報 車
空	高規格救急車	トヨタTC-VCH28S改	ガソリン	北見800さ 2111			H17.9	5.7		東藻琴救急1	救 急 車
	連絡車	トヨタE-EP85	ガソリン	北見56と4153			H19.4	19.0			連 絡 車
	水 槽 車	ヒノKC-ETIJGBL改	ディーゼル	北見88は 813	モリタME-5	A-2	H10.3	13.1	2,000	大空タンク12	部 車
	ポンプ車	ヒノBDG-GX7JGWA改	ディーゼル	北見800は 622	モリタME-5	A-2	H21.11	1.5	600	大空ポンプ11	部 車
	大型水槽車	イスズKL-CYZ81Q改	ディーゼル	北見800は150	トーハツ3000、VC52	B-3	H13.7	9.9	10,000	大空水槽14	部 車
東藻琴消防団	搬 送 車	トヨタKD-KZH116G	ディーゼル	北見33そ4992			H8.5	14.11		大空搬送1	搬 送 車
	積 載 車	〃 S-TFS55HD改	ディーゼル	北見88そ 544	ラビットP-508	B-2	H3.2	20.2		大空積載1	積 載 車
	ポンプ車	ヒノKC-FX1JGBA改	ディーゼル	北見88そ 2455	モリタME-5	A-2	H10.1	13.3		東藻琴ポンプ14	号 車
災害機材運搬車	ミツビシP-FG335E改	ディーゼル	北見88そ 164	ラビットP-508R	B-2	S63.11	22.5		東藻琴積載15	号 車	
	指揮広報車	トヨタGF-RCH47W	ガソリン	北見800さ 824			H13.3	10.1		東藻琴指揮1	指 令 車

15表 可搬式動力ポンプ現況

区分 所属	機関名称	ポンプ型式	ポンプ級別	馬力	購入年月	経過年	配置場所
網 走	トーハツ	V63AS	B-2	63	H22.9	0.6	第1分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	H2.9	20.7	
	シバウラ	SF-756MZ	B-2	62	H18.3	6.1	第2分団
	富士ロビン	P-555	B-2	60	H10.9	12.7	
	シバウラ	B-715	B-2	55	H1.9	21.7	
	シバウラ	B-715	B-2	55	S63.12	22.7	第3分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	H1.9	21.7	
	シバウラ	B-715	B-2	55	S62.9	23.7	第4分団
	シバウラ	B-715	B-2	55	H1.9	21.7	
	シバウラ	B-715	B-2	55	S62.9	23.7	第5分団
女満別	ラビット	P-508	B-2	52	H3.2	20.2	
	トーハツ	VC52AS	B-3	46	H13.7	9.9	第1分団
東藻琴	ラビット	P-508R	B-2	52	S63.11	22.5	第1分団

16表 消火泡原液及び流出油処理剤保有状況

区分 所属	消火泡原液(リットル)	流出油処理剤(リットル:kg)	
網 走	3,560	1,557	330
大 空	9,100	550	741
合 計	12,660	2,107	1071

17表 消防資器材保有状況

分類	資器材名	網走	大空	合計
放水器具	水中ポンプ		1	1
	ガンタイブノズル	5	5	10
	フォグガン	2	6	8
	無反動ノズル	3	2	5
	放水銃	1	1	2
	高発泡ノズル	5	4	9
	低発泡ノズル	1	7	8
	背負式ポンプ	24	20	44
	簡易水槽	5	4	9
救助器具	かき付アルミ合金製はしご		3	3
	かき付チタン製はしご	4	1	5
	二連アルミ合金製はしご	9	1	10
	三連アルミ合金製はしご	1	3	4
	三連チタン製はしご	1	2	3
	三連鋼鉄製はしご	4	1	5
	空気式救助マット	3	2	5
	マット型空気ジャッキ	1	2	3
	救命索発射銃 火薬式	3		3
	可搬式ワインチ	3	2	5
	マンホール救助器具	2		2
	発動発電機 300W	2		2
	〃 400W	3		3
	〃 500W	2	1	3
	〃 600W	1		1
	〃 800W		1	1
	〃 1.5kw	3	3	6
	〃 3KW	1	4	5
	〃 5KW	1	4	5
	バスケットストレッチャー	1	2	3
	多目的担架	1		1
	四つ折足付き担架	1		1
	エアーテント	1		1
	救命ボート アルミ製	1		1
	救命ボート FRP製 (複合)	1	2	3
破壊器具	船外機	2	3	5
	救命胴衣	21	12	33
	ライフガードスローバック	2		2
	ハーネス(隊員用)	7		7
	ハーネス(要救助者用)	1	2	3
	油圧式救助器具 スプレッター	3	3	6
	油圧式救助器具 カッター	3	3	6
	油圧式救助器具 ジャッキ	2	2	4
	エアーゾー	1	1	2
	エンジンカッター	5	4	9
	チェーンソー	3	3	6
	削岩機	1		1
保護器具	ハンマードリル	1		1
	鉄線カッター(鉄筋カッター)		1	1
	鉄製鉄	3	6	9
	酸素溶断機	1		1
	ガス溶断機	1		1
	万能斧	8	3	11
	携帶用コンクリート破碎機	3		3
	潜水器具	12		12
	化学防護服	5	3	8
	耐熱防護服	8	8	16
	耐電用防護服	3	4	7
	防護服(簡易型)		7	7
	耐電用手袋	16	4	20
	防毒マスク	5	3	8
	防護マスク(M3型)		6	6
測定器具	緊急避難用マスク(簡易型)		3	3
	空気呼吸器	25	26	51
	酸素呼吸器	3		3
	携帯警報機	5	12	17
	空気充填機	1	-1	2
	送排風機	1	3	4
	防塵めがね	10	3	13
	空気補充用ボンベ	75	83	158
	エアーバッグセーフティー	2	2	4
	夜光反射ベスト	15	5	20
	反射式合図灯	2	17	19
通信器具	可燃性ガス測定器	2	2	4
	酸素濃度測定器		1	1
車両用応急用具	携帯無線機(150MHz用)	19	19	38
	水中通話装置	12		12
	ゴージャック	1		1

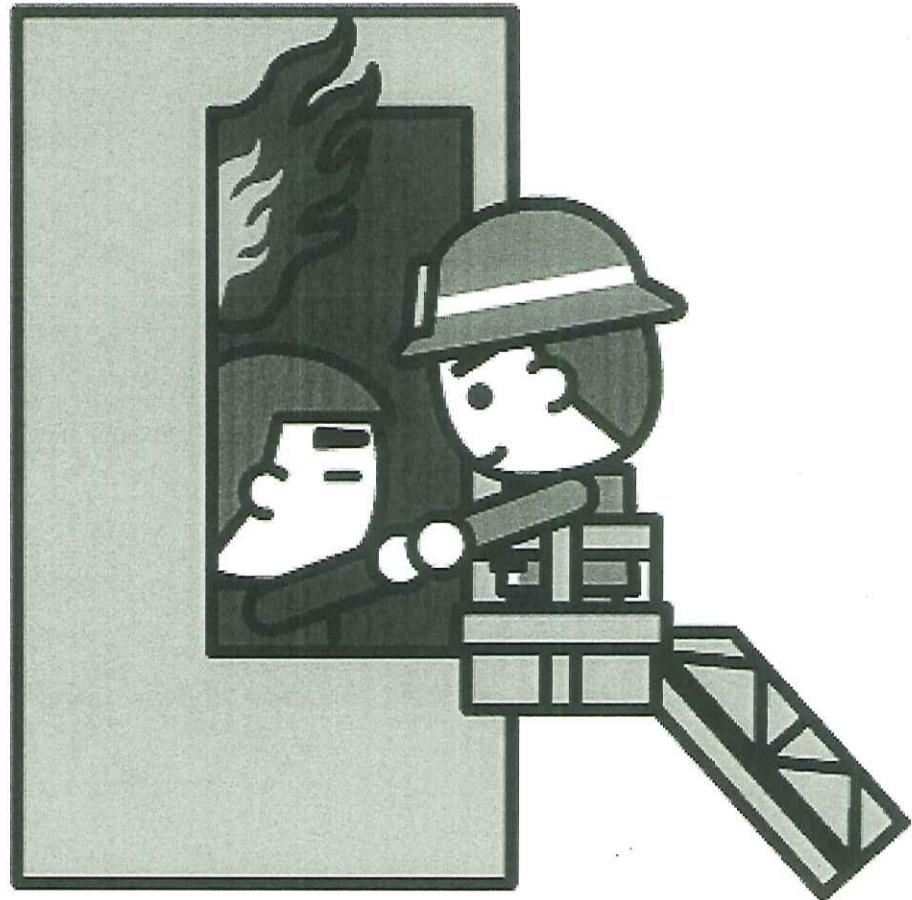
18表 救助工作車積載器具

機材名	数量	機材名	数量
空気呼吸器(ライフゼムK815)	5	金てこ	3
予備ボンベ(80・120)	10	パイロン	9
酸素呼吸器	2	フック棒	1
有毒ガス測定器	1式	消火器	1
可燃性ガス測定器	1式	ロープ 30m	2
酸素濃度測定器	1式	ロープ 40m	2
携帯拡声器	2	ロープ 50m	2
携帯投光器(カドニカ、懐中電灯)	5	ロープ 200m	1
救命浮輪	2	ロープ 小綱	10
ライフガードスローバック	2	カラビナ	25
救命胴衣	15	滑車	15
発電機	1式	救急箱	1
投光器(メタルハライド)	1式	デジタルカメラ	1
携帯発電機	1	エアーテント	1式
投降器	1	マンホール救助器具	1
エンジンカッター	1	ウインチ	1
チーンソー	1	クレーン	1
チルホール	1	安全帯	4
油圧式救助器具(ポートパワー)	1式	防塵マスク	7
油圧式救助器具(スプレッター)	1	防塵メガネ	10
油圧式救助器具(カッター)	1	防毒マスク	5
油圧式救助器具(ラムシリンダー)	1	チルスリング	3
エアーソー	1	シャックル	4
マット型空気ジャッキ	1式	鋼板吊クランプ	1
かぎ付はしご	1	チーンブロック	1
三連はしご	1	エアーマット(ソフトランディング)	1
ワイヤーはしご	1	薬きょう	3
サバイバースリング	2	エアーバックセーフティー	2
救助用縛帶	1	ハーネス(隊員用)	5
平担架	1	ハーネス(要救助者用)	1
多目的担架	1	スタティックロープ 50m	1
ボルトクリッパー	2	スタティックロープ 100m	4
ストライカー	1	テープスリング	36
削岩機	1	ブルージックコード	4
酸素溶断器	1式	カラビナ	27
耐電手袋	7	ブーリー	6
けん引ワイヤー(16mm)	1	アイディー	2
救命索発射銃(M3型)	1	ストップ	2
剣先スコップ	5	レスキューエイト	1
夜光反射ベスト	5	アッセンション	2
反射式合図灯	2	レスキューセンダー	1
緩降機	1	スイベル	1
斧	1	ポー	2
つるはし	1	フットプロ	1
掛け矢	1	デイジーチェーン	5
中ハンマー	1	ピタゴール	1
とび口	1	セットキャタピラー	1
鋸	1	トランスポーザック	3
鉈	1	バスケットストレッチャー	1
万能斧(弁慶)	2	フォーポイントブライドル	1
携帯警報器	5		

19表 消防水利施設現況

区分 区域	消火栓				防火水槽				合計	
	公設		私設		40m³以上		40m³未満			
	基準充足	基準不充足	基準充足	基準不充足	40m³>	20m³>	20m³>	井戸		
網走	381		5		39		26		386	
大空	6	34			74		3		40	
合計	387	34	5		113		29		426	

火災統計



20表 前年対比

区分 年	出 火 件 数	一 件 当 り の 日 数	損 害 額 (千円)	一 日 当 り の 損 害 額 (円)	出火原因			罹 災 世 帯	罹 災 人 員	焼 損 棟 数	焼損面積	
					1位	2位	3位				建物 (m ²)	林野 (a)
22年	14	26	74,862	205	こんろ 電気装置		煙突	7	15	10	1,253	0
21年	29	12.6	68,294	187,107	放火の疑い タバコ	ストーブ		12	28	28	1,717	0

21表 火災概況

区 分		地 域	網 走	大 空	組 合
火 災 件 数	建 物	全 燃	2	2	4
		半 燃	0	0	0
		部 分 燃	3	0	3
		ぼ や	1	1	2
		爆 発	0	0	0
		小 計	6	3	9
	林 野	林 野	0	0	0
		車両	0	1	1
		船 舶	0	0	0
		そ の 他	2	2	4
	合 計		8	6	14
焼 損 棟 数		全 燃	2	2	4
		半 燃	0	0	0
		部 分 燃	3	0	3
		ぼ や	2	1	3
		合 計	7	3	10
焼 損 面 積 (m ²)		全 燃	142	1087	1,229
		半 燃	0	0	0
		部 分 燃	24	0	24
		ぼ や	0	0	0
		合 計	166	1087	1,253
林 野 焼 損 面 積 (a)			0	0	0
罹 災 世 帯		全 損	1	1	2
		半 損	0	0	0
		小 損	5	0	5
		合 計	6	1	7
罹 災 人 員			13	2	15
死 傷 者	死 者		2	0	2
			3	0	3
損 害 額 (千円)			16,291	58,571	74,862

22表 地域別単位火災状況

区 分		地 域	網 走	大 空	組 合
件 数		1 日 当 り	0.022	0.016	0.038
焼損棟数		1 件 当 り	0.875	0.500	0.714
罹災人員		1 日 当 り	0.036	0.005	0.041
		1 件 当 り	1.625	0.333	1.071
罹災世帯		1 日 当 り	0.016	0.003	0.019
		1 件 当 り	0.750	0.167	0.500
焼損面積 (m ²)		1 日 当 り	0.455	2.978	3.433
		1 件 当 り	20.750	181.167	89.500
		罹災1世帯当り	27.667	1087.000	179.000
損 害 額 (円)		1 日 当 り	44,633	160,468	205,101
		1 件 当 り	2,036,375	9,761,833	5,347,286
		1 世 帯 当 り	876	3,149	4,025
		人口1人当り	413	1,485	1,899
		罹災世帯1世帯当り	2,715,167	58,571,000	10,694,571
		罹災人員1人当り	1,253,154	29,285,500	4,990,800
出 火 率			2.0	1.5	3.6

注) 人口及び世帯数は平成22年12月31日現在
出火率とは人口1万人当りの件数

23表 覚知別火災件数

区 分		覚知別	119番	加入電話	事後覚知	駆け付け	その他	計
建物火災	全 燃		4					4
	半 燃							0
	部 分 燃		3					3
	ぼ や		2					2
	爆 発							0
	小 計		9	0	0	0	0	9
林 野								0
車両			1					1
船 舶								0
そ の 他			2	2				4
合 計			12	2	0	0	0	14
比 率 (%)			85.7	14.3	0.0	0.0	0.0	100.0

24表 平成22年月別火災統計

区分 月別	火災件数										焼損棟数				焼損表面積(m ²)	林野焼損面積(a)	罹災世帯	死傷者				損害見積額(千円)														
	建物火災					船	車	林	航	そ	累	全	半	部	ぼ	累	全	半	小	罹	死	傷	死	傷	建	内	船	車	林	航	そ	合	累			
	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や	爆 発	船	両	野	機	他	計	焼	焼	分	ぼ	計	燒	燒	分	燒	人	員	死	傷	死	傷	物	容	舶	両	野	機	の 他	計	計	
1											0																						0	0		
2						1					1	1																			744		744			
3											1	1	2																		5,558	5,558	6,302			
4		1	1								2	4			1	1	20				1	2			1	1,958	1,651						3,609	9,911		
5	1										1	2	6	1			128			1		2			3,960	4,823						8,783	18,694			
6	1										1	2	8	1			959								13,412	28,476						41,888	60,582			
7			1								1	9				1		1			1	2			1	50	22						72	60,654		
8											0	9																				0	60,654			
9		2									2	11			2		4	10			2	5			1	854	370						1,224	61,878		
10											0	11																					0	61,878		
11	1										1	12	1		1	10					1	2			30	40						70	61,948			
12	1										1	2	14	1			132			1		2		1	1	12,456	458						12,914	74,862		
合計	4	0	3	2	0	0	1	0	0	4	14	14	4	0	3	3	1,253	11	0	2	0	5	15	0	1	2	2	32,720	35,840	0	744	0	0	5,558	74,862	74,862

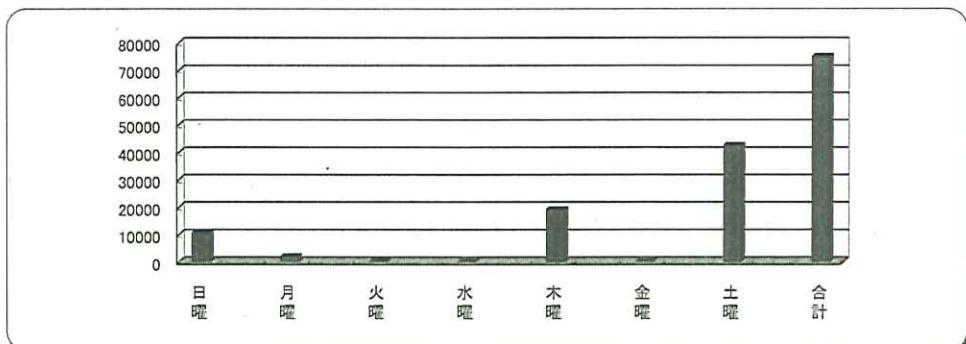
25表 建物火災用途別発生状況

用途	区分 火 件 数	焼損棟数						焼損面積 (m ²)	罹災		死傷者		損害額(千円)			
		全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	爆 発	計		世 帯	人 員	死 者	傷 者	建 物	内 容 物	計	
専用住宅	3	2			1		3	260	1	3	6	1	1	16,466	5,303	21,769
物置	1	1					1	10		1	2			30	40	70
工場・作業場	1				1		1								1,598	1,598
共同住宅	1			1			1	4		1	3			614	151	765
店舗併用住宅							0								0	0
公衆浴場併用住宅							0								0	0
住宅兼倉庫	1			1			1		10	1	2		1	240	219	459
飲食店							0								0	0
納屋							0								0	0
倉庫							0								0	0
図書館							0								0	0
駐輪場							0								0	0
堆肥舎	1	1					1	959						13,412	28,476	41,888
合計	8	4	0	2	2	0	8	1,233	11	6	13	1	2	30,762	35,787	66,549

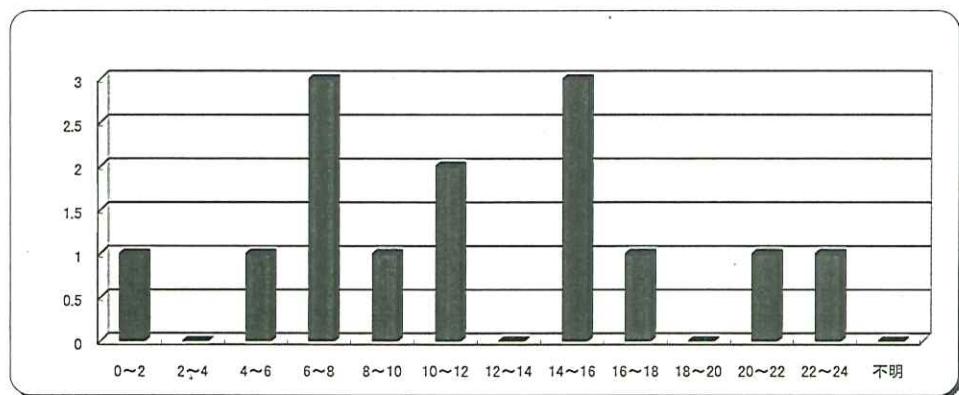
26表 曜日別火災件数及び損害額

区分 件 数	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜	合計
	損害額(千円)	10,794	2,057	70	0	19,309	0	42,632

1図 曜日別火災件数

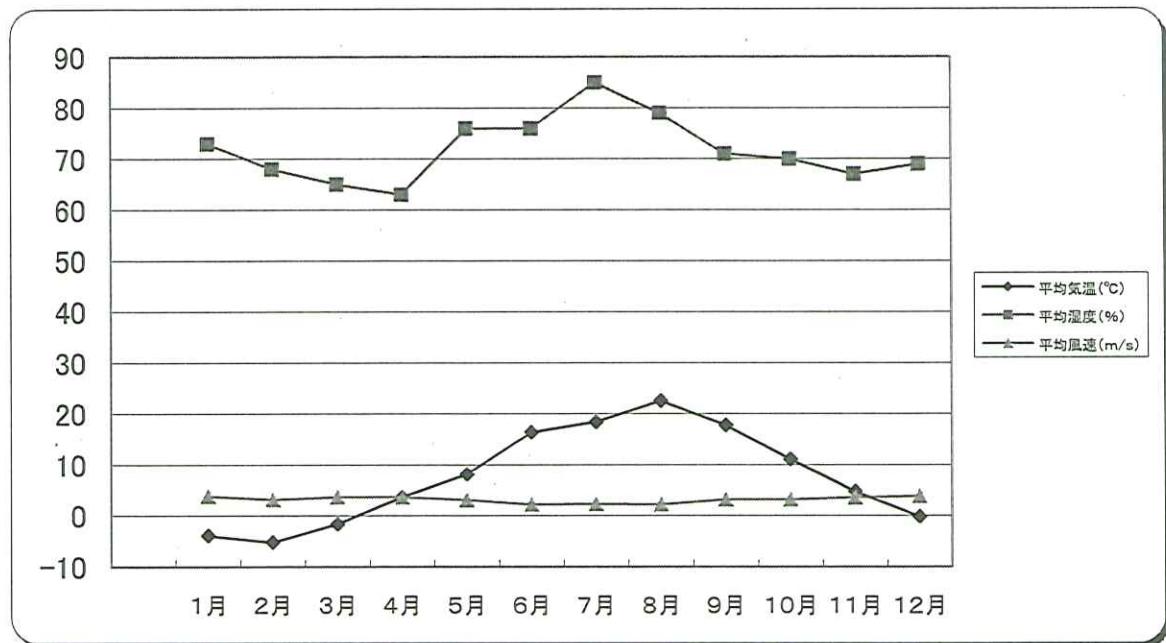


2図 時間別火災件数



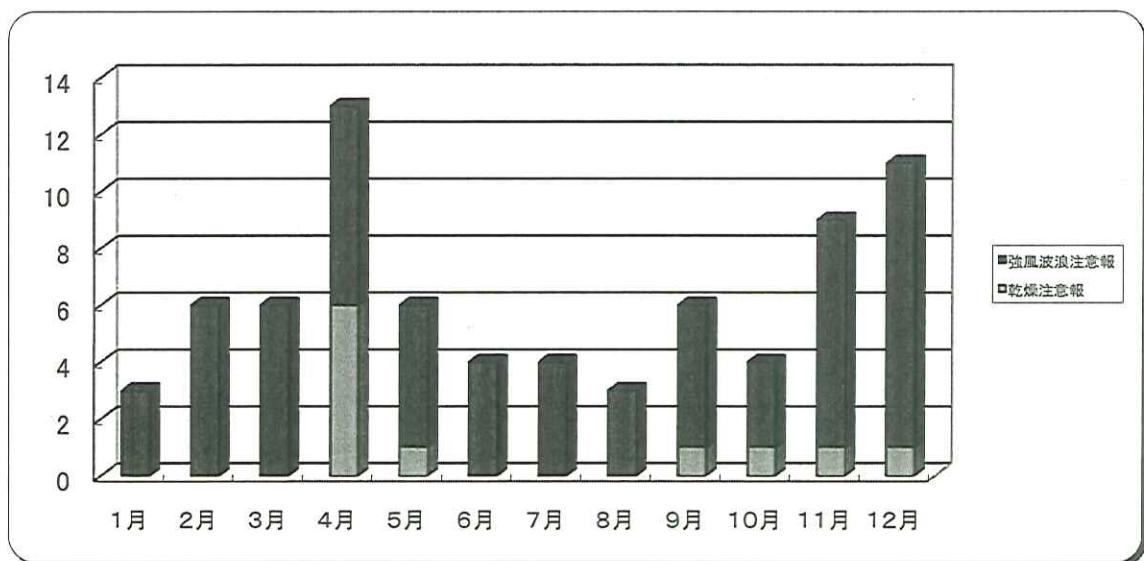
3図 月別気温・湿度・風速状況

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火災発生件数	0	1	1	2	2	2	1	0	2	0	1	2



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温(°C)	-3.9	-5.2	-1.6	3.7	8.2	16.4	18.4	22.6	17.8	11.1	4.8	-0.2
平均湿度(%)	73	68	65	63	76	76	85	79	71	70	67	69
平均風速(m/s)	3.9	3.2	3.7	3.7	3.1	2.2	2.3	2.2	3.2	3.2	3.6	3.9

4図 乾燥注意報・強風波浪注意報発令状況



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乾燥注意報	0	0	0	6	1	0	0	0	1	1	1	1
強風波浪注意報	3	6	6	7	5	4	4	3	5	3	8	10

27表 過去10ヶ年の火災発生状況

区分 年	火災件数						焼損面積		死傷者		罹災世帯	損害額 (千円)
	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	建物 (m ²)	林野 (a)	死者	傷者		
H22	9		1		4	14	1,253		2	3	7	74,862
H21	21		5		3	29	1,717		1	3	12	68,294
H20	9		2		8	19	1,286				5	186,163
H19	16		7		8	31	2,321		1	6	9	142,601
H18	19		4		11	34	769		2	4	12	74,987
H17	25	1	5		6	37	1,988	50	2	6	12	58,036
H16	26		6		9	41	1,114		3	3	12	54,507
H15	29		5		11	45	1,065		4	5	29	80,433
H14	24	1	4		3	32	1,258	2	1	5	16	70,324
H13	19		6	2	13	40	1,488		2	4	9	81,933
合計	197	2	45	2	76	322	14,259	52	18	39	123	892,140

28表 組合発足以降の主な火災

区分 年月日	出火 所在地	用 途	焼損棟数			罹 災 人 員	焼 損 面 積 (m ²)	死傷者		原 因
			全 焼	半 焼	部 分 焼			死 者	傷 者	
S47.1.14	東藻琴	住宅	1			4	111	945	1	煙突の過熱
2.15	網走	〃	1			5	100	835	1	ストーブの過熱
4.3	〃	〃	1			1	20	30	1	不明
4.30	女満別	林野					3,136a	3,136	1	火入れの残り火
11.20	網走	車両						17,542		不明
S48.5.5	〃	林野					500a			たき火の火の粉
5.6	常呂	〃					100a			不明
5.7	網走	〃					130a	184		枯草焼の火の粉
7.30	常呂	工場	4				822	18,875	1	電球
S49.1.19	網走	併用住宅	1			5	152	10,861	2	不明
4.14	〃	住宅		1		5	41	2,529	2	〃
5.14	女満別	〃	3			8	394	4,930	1	1 灯油ストーブ
6.22	常呂	〃			1	2	14	447	1	たばこ
7.25	網走	倉庫	3			7	423	25,346	1	不明
10.2	〃	住宅		1	1	7	22	2,650	1	マッチ
S50.3.16	〃	加工場	2	1		20	758	28,667	1	子供の火遊び
12.15	女満別	住宅	2			4	184	2,860	1	放火の疑い
12.25	網走	畜舎	1		2		431	12,046		電球
S51.2.11	〃	住宅	1			1	89	424	1	不明
8.15	女満別	作業場	1				394	11,714		〃
11.1	網走	併用住宅	1			4	125	23,120		〃
11.18	〃	長屋住宅			1	8	44	5,344	2	2 〃
S52.1.1	〃	旅館	3		1	15	1,716	49,343	5	〃
1.16	〃	車両						566	1	〃
1.16	〃	共同住宅			1	3	23	998	1	〃
2.16	〃	冷蔵庫	1		2		2,112	253,998		〃
5.26	東藻琴	学校	1				757	18,770		焼却炉の火の粉
6.14	網走	住宅	1		3	5	52	929	1	不明
11.10	〃	〃	1			5	144	11,482	2	ストーブの輻射熱
S53.3.7	〃	〃		1		2	33	552	1	不明
4.24	〃	林野					100a			たき火
5.7	女満別	〃					242a	2,388		火入れの火の粉
5.7	網走	〃					365a	105		たき火の飛火
8.25	網走	住宅			1	2	0	2,343	1	LPガス爆発
10.30	〃	〃			1	4	0		5	1 1 ストーブの輻射熱
S54.2.21	女満別	畜舎	1		1		556	22,591		トラクターの排気管
2.28	網走	学校	2				1,686	54,148		不明
6.11	〃	店舗			1		259	14,513		煙突輻射熱

区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹 災 人 員	焼 損 面 積 (m ²)	損害額 (千円)	死傷者		原因
			全 焼	半 焼	部 分 焼				死 者	傷 者	
7.13	"	住宅			1	1	30	1,281	1		不明
11.1	"	倉庫	1				455	40,402			"
S55.2.22	"	住宅	1			2	75	1,042	1		"
5.14	東藻琴	林野					1,289a				火入れの火の粉
10.9	網走	住宅	1	1		5	118	10,271		1	ローソク
11.14	"	"	1			6	68	4,137	2		ストーブの輻射熱
S56.5.6	"	店舗	1			8	579	24,376			ガスバーナー
6.7	常呂	倉庫	1		1	5	305	17,658			不明
12.27	"	畜舎	2				508	12,005			ストーブ
S57.1.13	東藻琴	倉庫	1				1,346	40,890			不明
3.27	網走	船舶						15,000			電気ストーブ
4.25	"	車庫	1	1		13	231	29,087			不明
6.12	"	倉庫	2		1	6	253	12,182			取灰
9.10	"	住宅	1		1	3	77	11,875		2	ライター
12.18	東藻琴	倉庫	1				225	10,598			溶接機
12.25	網走	その他							1		放火自殺
S58.1.6	"	"							1		"
2.6	"	倉庫	1		1		679	20,420			不明
6.16	"	住宅	1		1	5	58	16,236			"
6.24	"	共同住宅	1	2		13	403	30,736	1	1	"
11.1	"	住宅	1			11	136	10,861			子供の火遊び
12.16	女満別	"	1			5	107	12,577			ガスコンロ
S59.1.1	網走	"		1		6	63	9,673	1		ローソクの炎
1.25	"	倉庫	2				337	12,412			ストーブの輻射熱
11.12	"	旅館	1			3	699	55,499		7	放火の疑い
12.7	常呂	倉庫	5		2	6	724	6,227			不明
S60.9.10	網走	併用住宅	1			3	170	12,379			"
10.31	"	長屋住宅		1		6	41	2,464	1	2	プロパンガス爆発
S61.1.1	"	併用住宅		1		5	110	13,692			ゴミ焼
2.24	網走	店舗	1		1		136	14,721			ストーブの輻射熱
10.2	女満別	その他							1		放火自殺
12.27	常呂	倉庫	1		1		1,005	194,218			不明
S62.4.21	網走	林野					200a				"
6.8	女満別	作業場	1				330	20,264			"
12.21	網走	倉庫	1				2,799	185,411			不明
S63.2.16	東藻琴	住宅	1			6	119	15,689	2		"
7.10	網走	その他							1		放火自殺
10.2	女満別	住宅	1			2	75	11,103			たばこ
10.11	東藻琴	畜舎	1				2,888	81,973			牧草の自然発火
S64.1.7	女満別	住宅	1			5	149	13,828		1	石油ストーブ

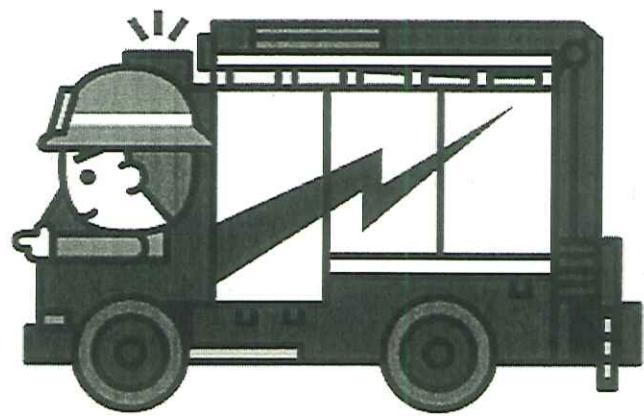
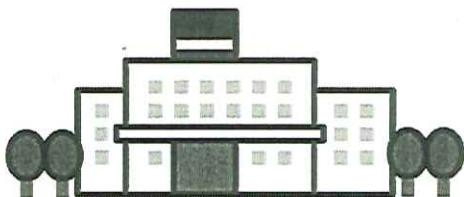
区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹 災 人 員	焼 損 面 積 (m ²)	死傷者		原 因
			全 焼	半 焼	部 分 焼			死 者	傷 者	
H1.1.26	東藻琴	〃	1			8	122	14,734		風呂釜
3.16	網走	併用住宅		1		5	129	38,248	2	不明
10.10	〃	その他							1	放火自殺
H2.1.22	常呂	住宅	1			6	135	18,342		ガストーチランプの炎
2.1	網走	併用住宅			1		13	80,105		不明
H3.6.25	常呂	倉庫	1				465	18,778		石炭ストーブ輻射熱
8.22	網走	作業場	1				2,350	93,935		不明
9.30	〃	事務室	1				192	19,431		〃
11.20	常呂	併用住宅	1			7	486	30,579		冷凍機の過熱
12.1	女満別	住宅	1			6	151	18,904		石油ストーブ
12.15	〃	併用住宅		1		1	57	23,321		〃
H4.2.19	網走	工場			1		18	12,886	1	乾燥機からの漏油
3.4	〃	住宅	1			3	35	2,604	2	1 不明
4.19	〃	工場		1			157	29,882		ガス設備の消し忘れ
5.11	常呂	林野					1,300a	562		車の排気筒
5.18	網走	作業場	1				195	23,880		ゴミ焼の飛火
10.20	〃	住宅	1				79	932	1	不明
H5.1.26	女満別	公民館	1				284	25,114		たばこ
2.6	網走	長屋住宅		1	1	5	43	6,012	1	3 プロパンガス爆発
5.1	〃	神殿	1				55	11,747		子供の火遊び
5.9	女満別	専用住宅	1			5	194	22,783		煙突輻射熱
H6.10.18	〃	〃	1			2	101	10,697		〃
H7.1.11	常呂	〃	1			8	225	10,262	1	火の着いた紙
4.7	女満別	車両						77	1	放火
7.30	網走	養畜舎	3				1,408	94,031		不明
9.1	〃	〃	1				1,118	15,644		漏電
H8.7.18	常呂	倉庫		1			668	14,695		低温着火
10.23	網走	船舶						12,585		不明
H9.5.4	女満別	納屋	1				559	7,090		〃
6.18	〃	専用住宅	1			8	164	32,089	1	たばこ
9.19	網走	作業所	1				410	15,357		モーター(過電流)
H10.4.13	網走	店舗			1		27	49,916		不明
5.8	〃	住宅・飲食店			1	6	46	10,021		たばこ
6.11	〃	住宅	1			2	93	15,810		放火
8.31	〃	飲食店		1			211	42,121		放火の疑い
9.19	女満別	専用住宅	1			2	147	19,947		放火
H11.10.30	網走	〃	1			5	86	17,233		火遊び
11.26	常呂	〃	1			5	150	22,088		ストーブ
H12.3.不明	網走	車両						200	1	不明
5.25	〃	店舗	1		2	7	622	27,268		電灯等の配線

区分 年月日	出火 所在地	用途	焼損棟数			罹 災 人 員	焼 損 面 積 (m ²)	損害額 (千円)	死傷者		原 因
			全 焼	半 焼	部 分 焼				死 者	傷 者	
6.22	〃	事務所・共住			1	4	4	1,128	2	2	放火の疑い
7.29	〃	その他							1		放火自殺
9.11	〃	専用住宅	1			2	97	11,906			不明
H13.1.29	網走	倉庫	4			10	507	27,163			不明
2.1	〃	牛舎	1				621	28,442			ストーブ
5.3	〃	専用住宅	1			2	45	2,419	2		たばこ
H14.4.7	網走	牛舎	1				591	4,210			不明
8.7	東藻琴	車両						50	1		放火自殺
12.16	網走	住宅・店舗	1			5	200	37,787			放火
H15.9.11	網走	専用住宅	1			2	97	2,103	1		ガステーブル
9.12	〃	作業所・住宅			1	2	28	2,281	1		放火
9.24	女満別	専用住宅	1			7	156	18,654	1		ローソクの炎
11.24	網走	共同住宅			1	3	32	597	1		電気ストーブ
H16.1.19	網走	専用住宅		1		2		290	1		バーナー
7.26	網走	専用住宅	1			2	189	7,513	2		不明
H17.1.17	網走	専用住宅	1			3	137	3,797	1		放火
2.18	網走	専用住宅		1		5	41	2,257	1	2	不明
3.18	網走	堆舎	1		1		365	10,312		1	電気制御盤
9.16	常呂	倉庫	1		1		674	7,143		1	不明
10.6	網走	専用住宅	1			2	160	12,924			発電機
H18.4.2	網走	事務所		1			80	13,202			冷蔵庫
6.5	網走	専用住宅	1			2	109	8,618	2		放火
8.15	大空	倉庫	1				18	14,244			不明
12.29	大空	共同住宅		1		2	147	26,869			ストーブ
H19.3.13	網走	専用住宅	1			2	97	11,610	1	1	不明
12.22	網走	工場	1				1,271	89,977			不明
H20.1.12	網走	工場			1		25	54,108			不明
1.25	網走	物置	1				646	3,105			電灯等の配線
5.19	網走	店舗併用住宅	2	1		4	284	111,118			不明
H21.4.2	網走	作業場		1			150	10,431			火のついたゴミ
7.6	網走	加工場	1		1		547	8,950			不明
9.15	網走	専用住宅			1	2		75	1		放火
9.18	網走	専用住宅	1			3	142	17,246		1	不明
H22.6.26	大空	養畜舎	1				959	41,888			不明
7.22	網走	専用住宅				2		72	1		放火
12.16	網走	専用住宅	1			2	132	12,914	1		不明

注)本統計は死者の生じた火災、焼損面積500m²以上の火災、損害額1,000万円以上の火災、焼損面積

100a以上の林野火災及び特殊火災を列記

救急・救助



29表 前年対比

区分 年	出場 件数	一日当たりの 件数	搬送 人員	一日当たりの 人員	事故種別(件数)				活動状況	
					急病	交通事故	一般 負傷	その他	(時・分)	(km)
					比率(%)					
H22年	1,769	4.85	1,702	4.66	1,040	129	229	371	1240.6	26,331.3
					58.8	7.3	12.9	21		
H21年	1,707	4.68	1,666	4.56	1,017	117	212	361	1359.1	28,692.3
					59.6	6.9	12.4	21.1		

30表 救急体制調

救急隊数	救急自動車数	救急隊員			医療機関						合計
					救急告示医療機関			その他の医療機関			
		専任	兼任	合計	病院	診療所	小計	病院	診療所	小計	
4	5	17	60	77	5		5	1	13	14	19

31表 出場件数・搬送人員

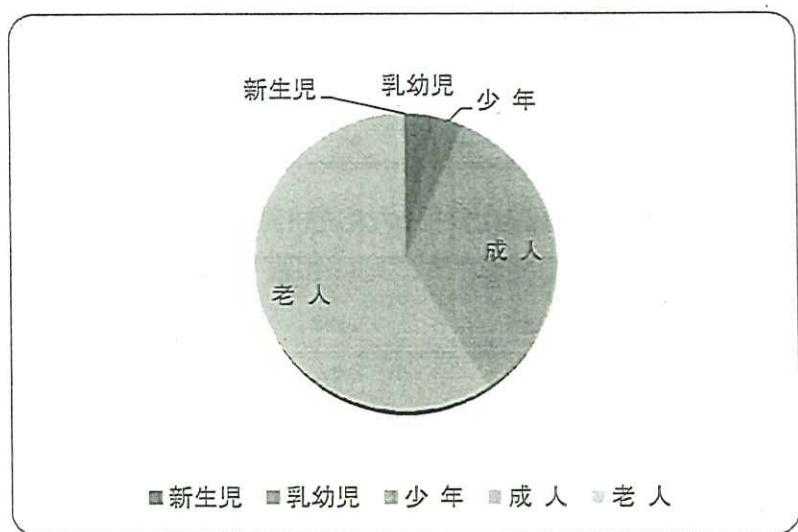
区分		事故種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
網走	出場件数		5		2	101	12	10	182	3	24	851	282	1,472
	不搬送		3		2	6			10	1	10	56	5	93
	搬送人員		2			126	12	11	172	2	14	797	277	1,413
大空	出場件数					28	4	1	47	1	5	189	22	297
	不搬送					4	1		4			13	1	23
	搬送人員					39	3	1	43	1	5	176	21	289
合計	出場件数	5	0	2	129	16	11	229	4	29	1,040	304	1,769	
	不搬送	3	0	2	10	1	0	14	1	10	69	6	116	
	搬送人員	2	0	0	165	15	12	215	3	19	973	298	1,702	

32表 傷病程度別搬送人員

程度	区域	網走	大空	合計	比率
死亡		35	10	45	2.6%
重症		274	39	313	18.4%
中等症		574	134	708	41.6%
軽症		530	106	636	37.4%
その他			0	0	0.0%
合計		1,413	289	1,702	100.0%

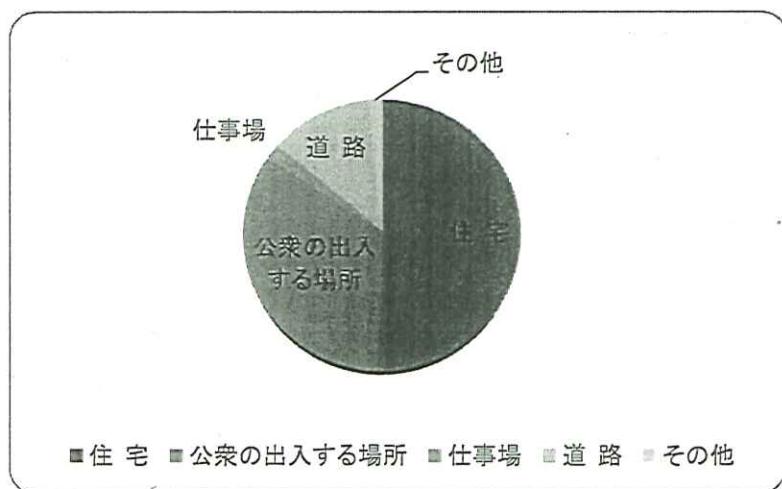
- 注) 死亡とは、初診時において死亡が確認されたもの。
 重症とは、傷病の程度が3週間の入院加療を必要とするもの。
 中等症とは、傷病の程度が重症又は軽症以外のもの。
 軽症とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
 その他とは、医師の診断がないもの及び搬送先がその他の場所へ搬送したもの。

5図 年齢別搬送人員



	新生児	乳幼児	少年	成人	老人	計
人 数	4	52	55	591	1,000	1,702
割 合	0.2%	3.1%	3.2%	34.7%	58.8%	100.0%

6図 発生場所別搬送人員



	住宅	公衆の出入する場所	仕事場	道路	その他	計
人 数	858	576	32	206	30	1,702
割 合	50.4%	33.8%	1.9%	12.1%	1.8%	100.0%

33表 医療機関別搬送人員

開設者 救急 告示の別	医 療 機 間						その他の場所			合計
	國立	公立	公的	私 的 病 院	私 的 診 療 所	小 計	接骨院	空港等	小 計	
救急告示	1	29	716	903	5	1,654		0		1,654
非告示	0	28	0	2	18	48		0		48
計	1	57	716	905	23	1,702	0	0	0	1,702

34表 救急隊員の行った応急処置状況

事故種別 応急処置対象搬送人員 処置項目	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他	計
	959	146	198	197	1,500
止 血	4	9	32	9	54
固 定	1	65	42	18	126
人 工 呼 吸	6			5	11
心 マッサージ					0
心 肺 蘆 生	39	2	4	8	53
酸 素 吸 入	273	10	18	108	409
気 道 確 保	68	2	7	16	93
※1	2				2
※2	3		3		6
※3	30	1	4	2	37
※4	3				3
保 温	9	1	1	3	14
被 覆	3	23	42	13	81
在 宅 療 法	19				19
※A	2				2
※B	3				3
※C	14				14
ショックパンツ血圧保持					0
除 細 動	6				6
輸 液	11	1		2	14
薬 剤 投 与	10	1		1	12
そ の 他	316	1	12	10	339
血 圧 測 定	852	114	150	88	1,204
心 音・呼吸音等聴取	211	42	44	34	331
血中酸素飽和度の測定	904	127	165	147	1,343
心 電 図	431	14	25	58	528
計	3,163	412	542	520	4,637

1. 気道確保 気道の確保のための処置並びに口腔内の清拭及び吸引の処置をいい、内数欄は次により区分する。

※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保

※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、ラシングアルマスク等を使用しての気道確保

※4 救急救命士が気管挿入管処置を実施しての気道確保

2. 在宅療法 在宅療法継続中の傷病者に対しその療法維持のために行った必要な処置(安全確保等に留意し観察等を行ったことも含む。)及び在宅療法に異常があった場合に行った応急処置をいい、内数欄は継続中の処置内容に応じ次により区分する。

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅科学療法等により点滴処置が施されているもの。

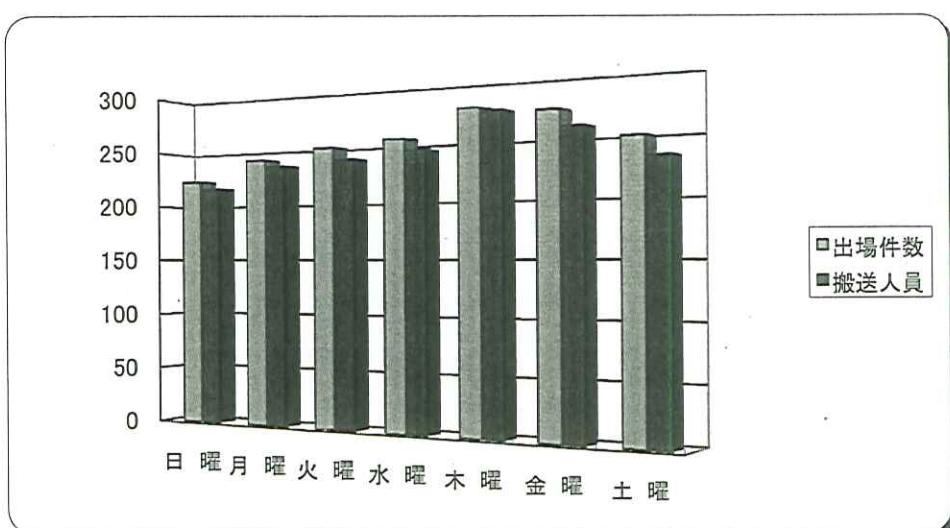
※B 気管切開孔又は気管瘻、人口肛門等の外瘻処置が施されているもの。

※C ※A、※B以外の処置が施されているもの。

35表 月別救急業務実施状況

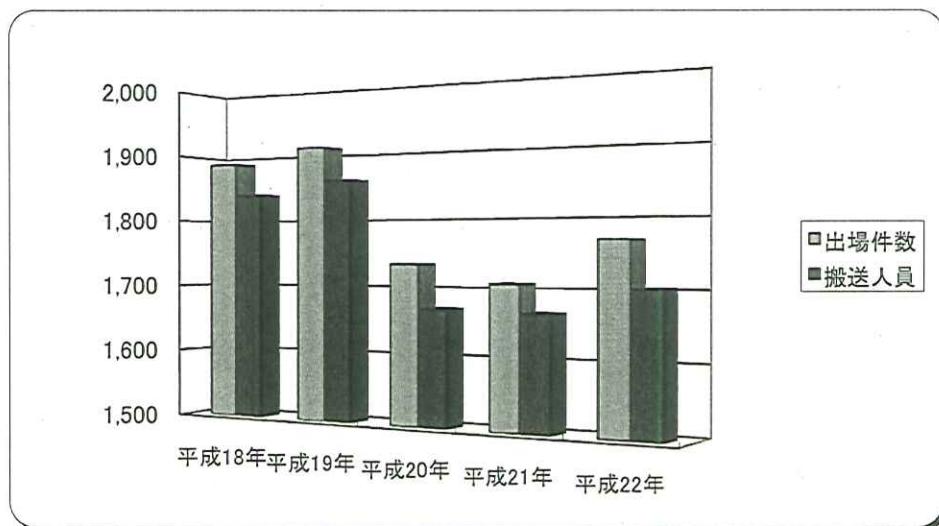
区分 月 件・人		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1 出場件数					12		1	24	2	3	88	25	155
月 搬送人員					14		1	23	1	3	82	24	148
2 出場件数		1			7	2	1	16		2	83	28	140
月 搬送人員		1			8	2	1	15		2	78	27	134
3 出場件数					11	1	1	19		1	70	22	125
月 搬送人員					20	1	1	19		1	67	21	130
4 出場件数		2			10			21		2	100	22	157
月 搬送人員		1			13			21		1	95	22	153
5 出場件数					17			13		5	79	29	143
月 搬送人員					28			13		3	71	29	144
6 出場件数					10	1		19		2	88	36	156
月 搬送人員					10	1		19		1	83	35	149
7 出場件数					11			14		6	109	23	163
月 搬送人員					13			13		3	102	23	154
8 出場件数				1	12	1	5	22		1	109	24	175
月 搬送人員					11	1	6	21		1	104	23	167
9 出場件数		1		1	7	3		27		2	84	26	151
月 搬送人員					9	2		23		1	80	26	141
10 出場件数					12	2	1	23	1	2	79	24	144
月 搬送人員					15	2	1	20	1	2	74	24	139
11 出場件数					14	3	2	10		2	70	19	120
月 搬送人員					15	3	2	10		1	65	19	115
12 出場件数		1			6	3		21	1	1	81	26	140
月 搬送人員					9	3		18	1		72	25	128
合 出場件数		5	0	2	129	16	11	229	4	29	1,040	304	1,769
計 搬送人員		2	0	0	165	15	12	215	3	19	973	298	1,702

7図 曜日別出場件数及び搬送人員



区分	日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
出場件数	223	241	250	255	278	273	249
搬送人員	216	235	239	245	275	259	233

8図 既往5ヵ年救急活動状況



区分	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
出場件数	1,887	1,908	1,734	1,707	1,769
搬送人員	1,839	1,858	1,670	1,666	1,702

36表 既往5ヶ年救助活動状況

事故種別 区分		火災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
H22	出動件数		14	5		2		2		7	30
	救助人員		3	3		1				3	10
H21	出動件数		9	5	1	2				2	19
	救助人員		5	3		2					10
H20	出動件数		18	5							23
	救助人員		10	3							13
H19	出動件数	1	19	5						3	28
	救助人員		23	3						3	29
H18	出動件数		21	7						4	32
	救助人員		15	6						4	25
合計	出動件数	1	81	27	1	4	0	2	0	16	132
	救助人員	0	56	18	0	3	0	0	0	10	87

予防・危険物



37表 市町別危険物施設数

区 分 地 域	製 造 所	貯 �藏 所						取 扱 所				合 計
		屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	小計	給油所	移送所	一般取扱所	
網 走		37	7	132	76	2	10	264	44	1	83	128 392
大 空			12		43	37	1	2	95	17		15 32 127
合 計		0	49	7	175	113	3	12	359	61	1	98 160 519

38表 指定数量別貯蔵及び取扱状況

区 分 倍 数	製 造 所	貯 藏 所						取 扱 所				合 計
		屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	小計	給油所	移送所	一般取扱所	
指 定 数 量 の 5 倍 以 下		7	5	105	67	2	5	191	2		57	59 250
指 定 数 量 の 5 倍 を 超 え 10 倍 以 下		21	2	35	7		5	70	11		22	33 103
指 定 数 量 の 10 倍 を 超 え 50 倍 以 下		9		22	13	1	1	46	15		11	26 72
指 定 数 量 の 50 倍 を 超 え 100 倍 以 下		2		6	22		1	31	6		5	11 42
指 定 数 量 の 100 倍 を 超 え 150 倍 以 下		1		3	4			8	9		1	10 18
指 定 数 量 の 150 倍 を 超 え 200 倍 以 下		2		1				3	11			11 14
指 定 数 量 の 200 倍 を 超 え 1,000 倍 以 下		3		3				6	7			7 13
指 定 数 量 の 1,000 倍 を 超 え 5,000 倍 以 下		3						3			2	2 5
指 定 数 量 の 5,000 倍 を 超 え 10,000 倍 以 下		1						1				0 1
指 定 数 量 の 10,000 倍 を 超 え る も の								0		1		1 1
合 计		0	49	7	175	113	3	12	359	61	1	98 160 519

39表 危険物施設許認可状況

製造所等の別 区分		計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所					
				小 計	屋 内 貯 藏 所	屋 外 タ ン ク 貯 藏 所	屋 内 タ ン ク 貯 藏 所	地 下 タ ン ク 貯 藏 所	簡 易 タ ン ク 貯 藏 所	移 動 タ ン ク 貯 藏 所	屋 外 貯 藏 所	小 計	給 油 取 扱 所	第 1 種 販 売 取 扱 所	第 2 種 販 売 取 扱 所	移 送 取 扱 所	一 般 取 扱 所
許 可	設 置	2		2						2		0					
	変 更	12		7	1	1		3		2		5	2			2	1
	設置場所 の 変 更	他許可行政 庁に転出	1	1						1		0					
	他許可行政 庁から転入	3		3						3		0					
完成検査	設 置	3		2						2		1	1				
	変 更	12		7	1	1		3		2		5	2			2	1
	他許可行政 庁から転入	3		3						3		0					
廃止届等		27		24	17	1		4		1	1	3					3
完成検査前に設置許可 の取り消し処分																	
増 減 数	設 置 許 可	△ 23		△ 20	△ 17	△ 1		△ 4		3	1	△ 3	0				△ 3
	設 置 完 成 検 査	△ 22		△ 20	△ 17	△ 1		△ 4		3	1	△ 2	1				△ 3

40表 防火対象物現況

令別表第1区分		区分	防火対象物(法17条)			防火管理者(法8条)			予防査察 (延件数)
			網走	大空	合計	該当 防火 対象物	甲種	乙種	
1項	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1	0	1	1	1		1
	ロ	公会堂又は集会場	21	6	27	20	14	6	19
2項	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの		0	0				
	ロ	遊戯場又はダンスホール	8	2	10	6	6		6
	ハ	風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律に規定する性風俗関連特殊営業を営む店舗その他これに類するものとして総務省令で定めるもの		0	0				
	ニ	カラオケボックスその他遊興のための設備又は物品を個室において客に利用させる役務を提供する業務を営む店舗で総務省令で定めるもの	2	0	2	2	1	1	2
3項	ロ	飲食店	59	5	64	47	25	97	134
4項	百貨店、マーケットその他物品販売業を営む店舗又は展示場		102	8	110	73	60	22	84
5項	イ	旅館、ホテル又は宿泊所	77	11	88	40	39	1	41
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	447	56	503	57	57	1	58
6項	イ	病院、診療所又は助産所	25	2	27	13	13		13
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものに限る。)等	38	2	40	17	16	1	17
	ハ	老人デイサービスセンター、軽費老人ホーム、老人福祉センター、老人介護支援センター、有料老人ホーム(主として要介護状態にある者を入居させるものを除く。)等	11	5	16	9	8	1	9
	ニ	幼稚園、特別支援学校	8	2	10	8	8		7
7項	小学校、中学校、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校その他これらに類するもの		51	8	59	19	19		19
8項	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの		11	2	13	5	5		5
9項	ロ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類するもの以外の公衆浴場	2	1	3				
10項	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場		3	1	4	1	1		1
11項	神社、寺院、教会その他これらに類するもの		34	14	48	17	14	3	17
12項	イ	工場又は作業場	234	69	303	16	16		16
13項	イ	自動車車庫又は駐車場	36	15	51	1	1		1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫		1	1				
14項	倉庫		201	52	253				
15項	前各項に該当しない事業場		153	129	282	45	41	4	45
16項	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が1項から4項まで、5項(イ)、6項又は9項(イ)に掲げる防火対象物の用途に供されているもの	128	42	170	61	56	3	57
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	38	16	54	3	1	1	2
合 計			1,690	449	2,139	461	402	141	554
									67

41表 中高層建築物の現況

階	区分	所属		合計
		網走	大空	
4階	飲食店	4		4
	旅館・ホテル	3	1	4
	共同住宅	64	3	67
	病院	2		2
	学校	3		3
	事務所	2	2	4
	複合用途ビル	13		13
5階	小計	91	6	97
	飲食店	3		3
	旅館・ホテル	5		5
	共同住宅	16	1	17
	病院	3		3
	学校	1		1
	工場	1		1
6階	事務所	1		1
	複合用途ビル	7	1	8
	小計	37	2	39
	飲食店	1		1
	旅館・ホテル	4		4
	共同住宅	6		6
	病院			0
7階	学校			0
	事務所	1		1
	複合用途ビル	7		7
	小計	19	0	19
	飲食店			0
	旅館・ホテル	4		4
	共同住宅	3		3
8階	病院			0
	学校			0
	事務所			0
	複合用途ビル			0
	小計	7	0	7
	飲食店			0
	旅館・ホテル	2		2
9階	共同住宅	2		2
	病院			0
	学校			0
	事務所			0
	複合用途ビル	2		2
	小計	6	0	6
	飲食店			0
10階	旅館・ホテル	4		4
	共同住宅	1		1
	病院	1		1
	学校			0
	事務所			0
	複合用途ビル			0
	小計	6	0	6
11階	飲食店			0
	旅館・ホテル			0
	共同住宅	1		1
	病院			0
	学校			0
	事務所			0
	複合用途ビル			0
計	小計	2	0	2
	飲食店	8		8
	旅館・ホテル	23	1	24
	共同住宅	94	4	98
	病院	6		6
	学校	4		4
	工場	1		1
	事務所	4	2	6
	複合用途ビル	29	1	30
	合計	169	8	177

42表 月別建築同意処理状況

区分 月別	新築		増築		改築		その他		合計	
	件	面積(m ²)	件	m ²	件	面積(m ²)	件	面積(m ²)	件	面積(m ²)
1月	3	1,252.52	1	31.63					4	1,284.15
2月	2	439.70					3	2,324.06	5	2,763.76
3月	2	1,950.48					4	1,705.07	6	3,655.55
4月	5	1,371.74					1	45.11	6	1,416.85
5月	4	265.06	2	450.81			1	1,286.66	7	2,002.53
6月	2	832.48							2	832.48
7月			2	72.20					2	72.20
8月			3	1,255.35			2	1,030.52	5	2,285.87
9月	2	347.47	1	99.00			1	403.82	4	850.29
10月	3	156.84					1	816.85	4	973.69
11月			1	7.83			2	1,862.82	3	1,870.65
12月	2	2,426.90	1	58.05					3	2,484.95
合計	25	9,043.19	11	1,974.87	0	0.00	15	9,474.91	51	20,492.97

43表 月別構造・棟別確認申請処理件数

区分 月別	耐火		準耐火		防 火		その他		合 計	
	棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)
1月			1	828.32	1	31.64	2	424.20	4	1,284.16
2月			2	2,125.32	3	638.44			5	2,763.76
3月	2	1,751.74	2	1,402.64	1	198.74	2	302.42	7	3,655.54
4月	7	1,198.16	1	132.32	1	86.37			9	1,416.85
5月	2	1,394.66	2	371.43	2	111.26	2	125.18	8	2,002.53
6月			2	832.48					2	832.48
7月					1	45.72	1	26.48	2	72.20
8月	5	1,776.30			2	509.57			7	2,285.87
9月	4	850.29							4	850.29
10月			2	855.48	1	83.43	1	34.78	4	973.69
11月	2	411.65	1	1,459.00					3	1,870.65
12月	2	107.45	1	2,377.50					3	2,484.95
合計	24	7,490.25	14	10,384.49	12	1,705.17	8	913.06	58	20,492.97

44表 防火対象物別建築同意処理状況

区分	種別	工事種別								合計	
		新築		増築		改築		その他		棟	面積(m ²)
		棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)	棟	面積(m ²)		
1項	イ									0	0.00
	ロ									0	0.00
2項	イ									0	0.00
	ロ									0	0.00
	ハ									0	0.00
	二									0	0.00
3項	イ									0	0.00
	ロ	1	198.74							1	198.74
4項		2	1,104.85	2	77.35			1	816.85	5	1,999.05
5項	イ									0	0.00
	ロ	3	1,062.56					3	995.81	6	2,058.37
6項	イ			1	745.78			2	807.64	3	1,553.42
	ロ							4	1,490.06	4	1,490.06
	ハ									0	0.00
	二									0	0.00
7項										0	0.00
8項										0	0.00
9項	イ									0	0.00
	ロ									0	0.00
10項										0	0.00
11項										0	0.00
12項	イ	1	2,377.50					1	1,527.00	2	3,904.50
	ロ									0	0.00
13項	イ									0	0.00
	ロ									0	0.00
14項		2	197.50	2	585.00					4	782.50
15項		7	417.69	4	508.86			4	2,898.77	15	3,825.32
16項	イ	4	2,712.38					1	835.10	5	3,547.48
	ロ									0	0.00
住宅	住宅	4	561.93	1	23.57			1	103.68	6	689.18
	付隨建築物	4	110.04	2	34.31					6	144.35
その他		1	300.00							1	300.00
合計		29	9,043.19	12	1,974.87	0	0.00	17	9,474.91	58	20,492.97

45表 防火管理者講習会開催状況

年	種別	受講人員数
H22	甲種防火管理者講習会	49
	乙種〃	13
	甲種(再)〃	22
H21	甲種防火管理者講習会	67
	乙種〃	14
	甲種(再)〃	8
H20	甲種防火管理者講習会	61
	乙種〃	4
	甲種(再)〃	10
H19	甲種防火管理者講習会	67
	乙種〃	6
	甲種(再)〃	11
H18	甲種防火管理者講習会	54
	乙種〃	14
	甲種(再)〃	27
H17	甲種防火管理者講習会	47
	乙種〃	10
	甲種(再)〃	18
H16	甲種防火管理者講習会	56
	乙種〃	13
H15	甲種〃	62
	乙種〃	21
H14	甲種〃	95
	乙種〃	10
H13	甲種〃	81
	乙種〃	28
H12	甲種〃	86
	乙種〃	7
H11	甲種〃	10
	乙種〃	96
H10	甲種〃	78
	乙種〃	29
H 9	甲種〃	80
	乙種〃	17
H 8	甲種〃	110
	乙種〃	17
H 7	甲種〃	95
	乙種〃	15
H 6	甲種〃	85
	乙種〃	16
H 5	甲種〃	87
	乙種〃	9
H 4	甲種〃	115
	乙種〃	13
H 3	甲種〃	125
	乙種〃	21
合計		1,979

46表 法令・条例に基づく各種届出状況

区分	届出種別	署 所	網 走	大 空	組 合
法令に基づく各種届出	消火器設置届		17	3	20
	屋内消火栓設備着工届			1	1
	〃 設置届		1	1	2
	スプリンクラー設備着工届		6	2	8
	〃 設置届		5	2	7
	泡消火設備着工届				0
	〃 設置届				0
	屋外消火栓設備着工届				0
	〃 設置届				0
	動力消防ポンプ設備設置届				0
	自動火災報知設備着工届		23	5	28
	〃 設置届		30	5	35
	漏電火災警報器設置届		1		1
	消防機関に通報する火災報知設備着工届		4	2	6
	〃 設置届		3	2	5
	非常警報設備設置届		2	2	4
	避難器具着工届				0
	〃 設置届				0
	誘導灯設置届		19	3	22
条例に基づく各種届出	パッケージ型消火設備着工届				0
	〃 設置届		1		1
	連結送水管設置届				0
	防火管理者選解任届		117	43	160
	消防計画作成(変更)届		34	35	69
	危険物保安監督者選解任届		8	2	10
	液化石油ガス貯蔵、取扱い届				0
	消防用設備等点検結果報告		737	304	1041
	非常コンセント設備設置届				0
	小 計	1,008	412	1,420	
条例に基づく各種届出	防火対象物使用開始届		10	11	21
	炉、かまど、ボイラー、乾燥設備設置届		7	4	11
	発電、変電、蓄電池設備設置届		12	4	16
	火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為の届		29	159	188
	煙火打上げ、仕掛け等		26	19	45
	催物開催届			2	2
	少量危険物貯蔵取扱い届		44	6	50
	水道断水・減水届				0
	道路工事届		89	32	121
	小 計	217	237	454	
	合 計	1,225	649	1,874	

47表 広報実施状況

区分 所属	広報の趣旨	活動延時間	活動延人員
網走	火災予防キャンペーン	13時間	61人
	火災予防広報(春・秋・歳末)	197時間	531人
	防火の日広報	12時間	12人
	救急の日広報	7時間	7人
	119番の日広報	1時間	1人
	小計	230時間	612人
大空	火災予防運動(春・秋・歳末)	205時間	237人
	小計	205時間	237人
計		435時間	849人

自主防災組織



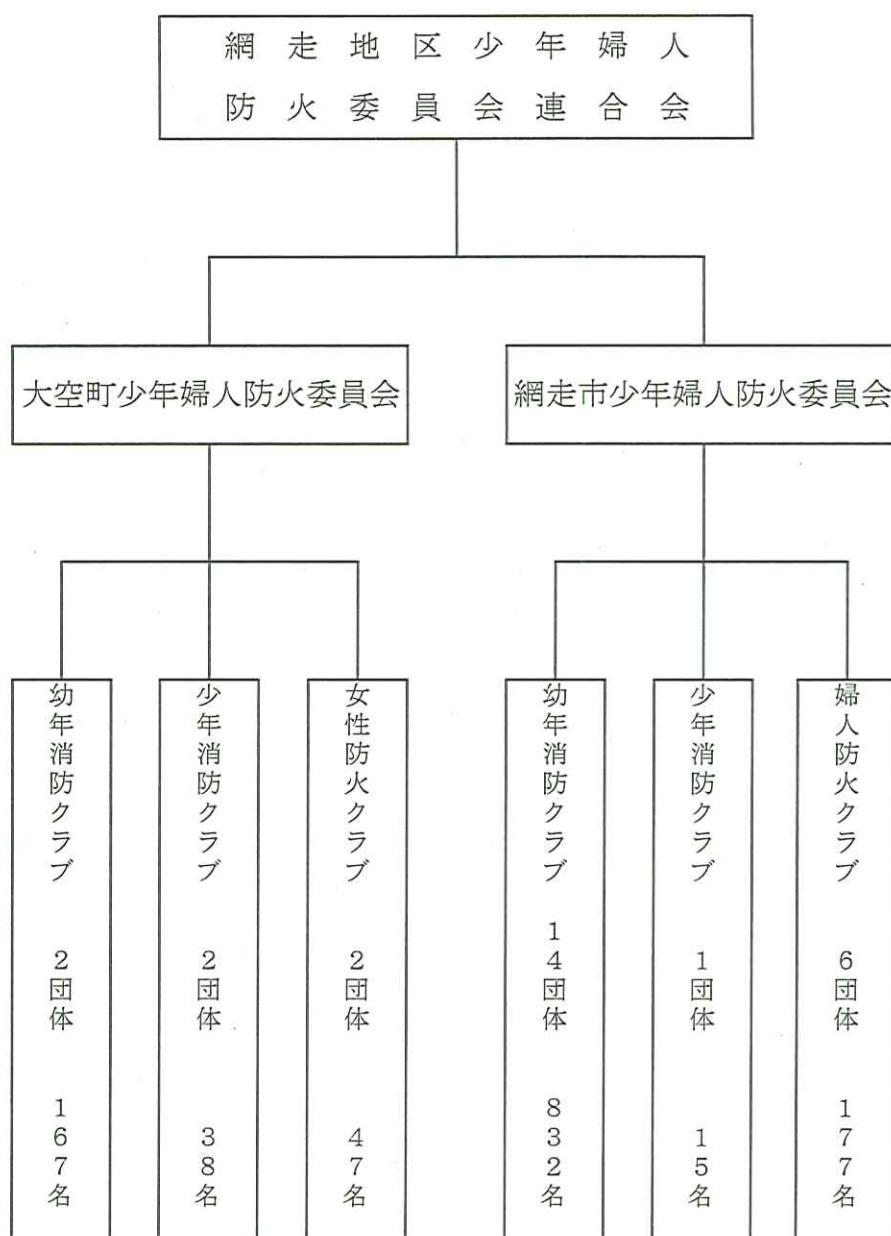
沿革

網走地区の自主防災組織の発足は、昭和55年12月に網走市において婦人防火クラブ2団体、少年消防クラブ4団体の結成と同時に網走市少年婦人防火委員会が設立されたものです。

現在では、幼年消防クラブ16団体、999名、少年消防クラブ3団体53名、婦人防火クラブ8団体224名、合計1,276名となり管内人口の3.2%を占めています。

自主防災組織図

(平成23年4月1日現在)



48表 婦人・女性防火クラブ

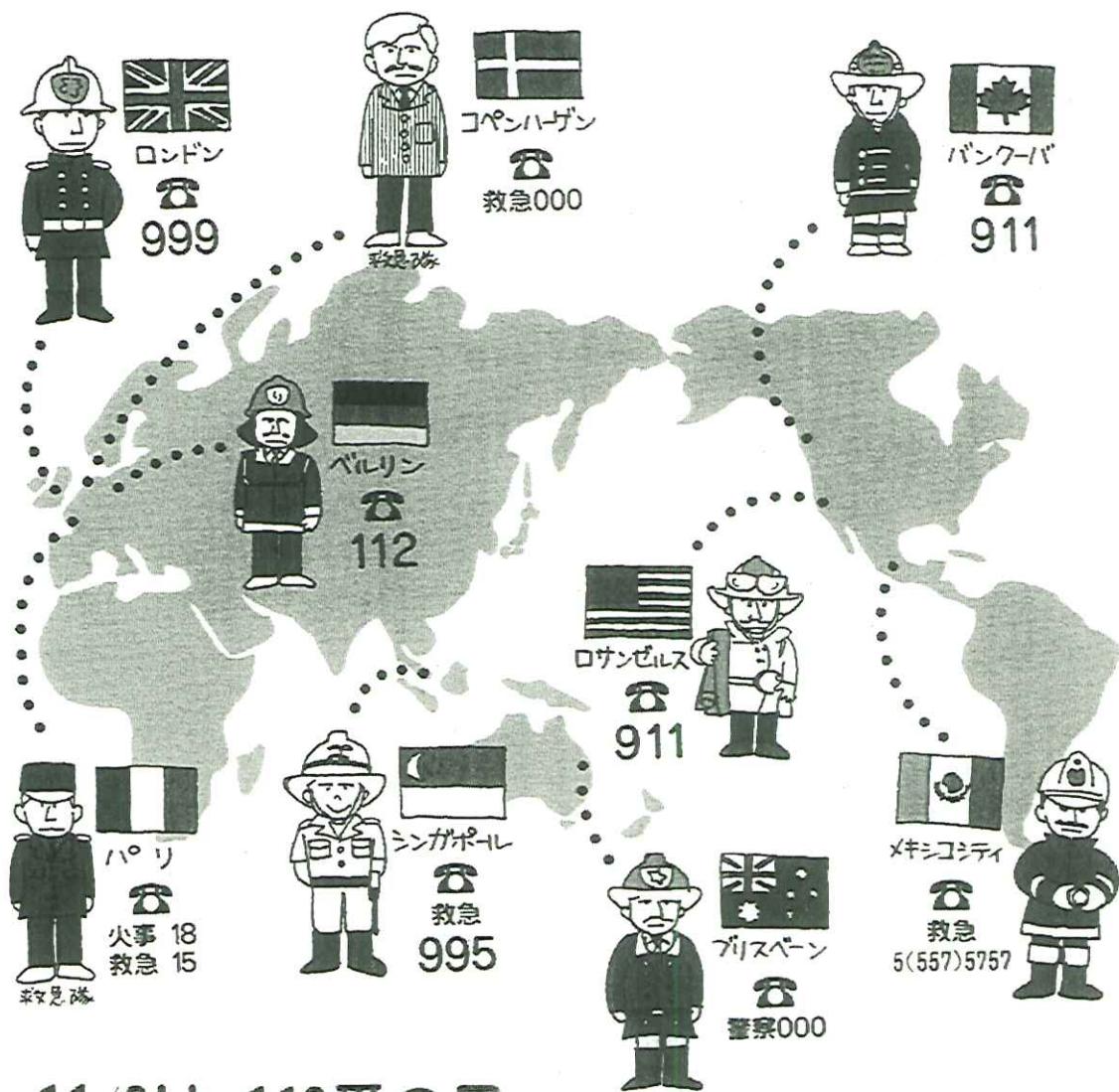
地域別	名 称	結成年月日
網走市	網走婦人防火クラブ	S56.11.7
	卯原内婦人防火クラブ	S55.12.10
	西網走漁協婦人防火クラブ	S59.3.5
	藻琴婦人防火クラブ	S59.8.24
	能取婦人防火クラブ	S59.10.30
	浦士別婦人防火クラブ	H18.1.25
大空町	女満別女性防火クラブ	H9.9.9
	東藻琴女性防火クラブ	H2.4.11

49表 少年・幼年消防クラブ

区別	地域別	名 称	結成年月日
少年消防クラブ	網走市	網走少年消防クラブ	S55.12.10
		女満別少年消防クラブ	S58.12.10
	大空町	東藻琴少年消防クラブ	S57.11.29
幼年消防クラブ	網走市	桂幼稚園幼年消防クラブ	S58.10.1
		潮見幼稚園幼年消防クラブ	〃
		つくしヶ丘幼稚園幼年消防クラブ	〃
		網走幼稚園幼年消防クラブ	〃
		若葉幼稚園幼年消防クラブ	〃
		すずらん保育園幼年消防クラブ	S59.2.1
		つくし保育園幼年消防クラブ	〃
		たんぽぽ保育園幼年消防クラブ	〃
		ひまわり保育園幼年消防クラブ	〃
		潮見保育園幼年消防クラブ	〃
		浦士別保育所幼年消防クラブ	S60.6.1
		藻琴保育所幼年消防クラブ	S60.7.26
		呼人保育所幼年消防クラブ	S61.5.20
		さんご草保育園幼年消防クラブ	H8.8.23
	大空町	女満別幼年消防クラブ	S58.12.10
		東藻琴幼年消防クラブ	S58.10.1

通信施設

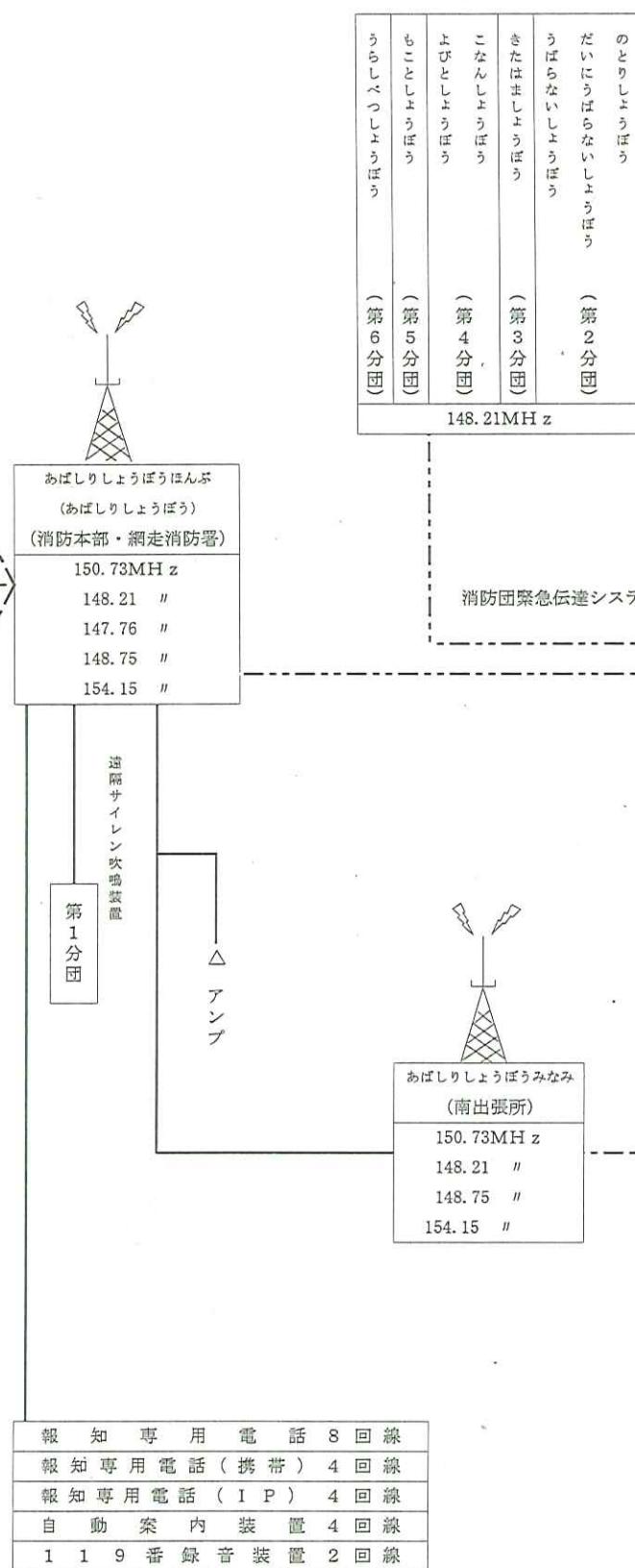




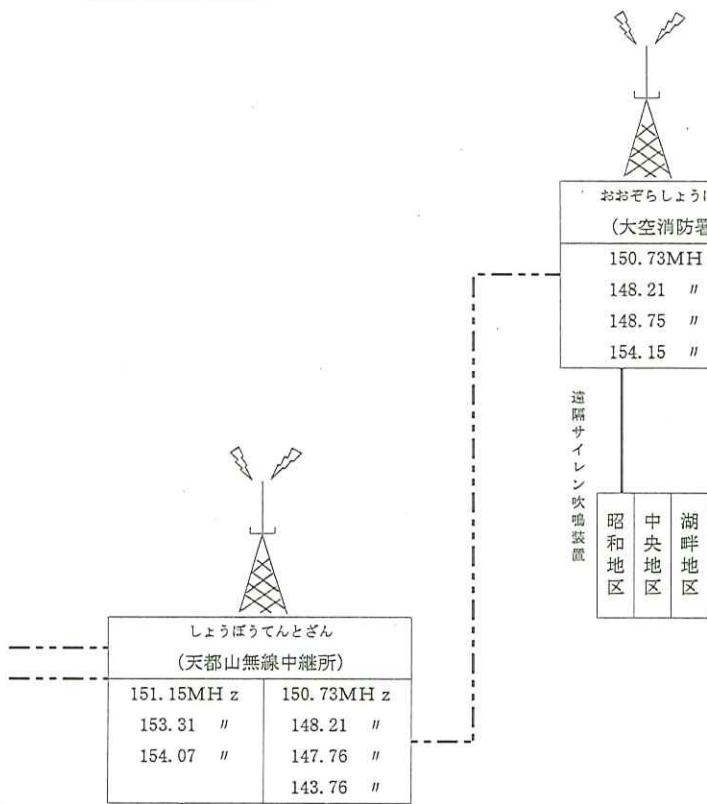
11/9は 119番の日

消 防 有 無 線 系 統 図

呼出名称	車両別	出力
網走指揮1	指揮広報1号車	10W
" 2	指令1号車	"
" 3	指令2号車	"
網走タンク1	タンク1号車	"
" 2	" 2号車	"
" 3	" 3号車	"
" 4	" 4号車	"
網走水槽1	水槽1号車	"
" 2	" 2号車	"
網走ポンプ2	第1分団1号車	"
" 3	第1分団2号車	"
" 4	第1分団3号車	"
網走資機材1	第1分団4号車	"
網走はしご1	はしご1号車	"
網走化学1	化学1号車	"
網走救助1	救助工作1号車	"
網走広報1	広報1号車	"
網走災対1	災害対応多目的車	"
網走1	資機材搬送1号車	"
" 2	防火広報1号車	"
卯原内2	積載車(第2分団付積載)	"
卯原内3	" (" 嘉多山積載)	"
能取1	" (" 能取積載)	"
北浜1	" (第3分団付積載)	"
呼入1	" (第4分団付積載)	"
藻琴1	" (第5分団付積載)	"
浦士別1	" (第6分団付積載)	"
網走指揮本部1	携帯1号	5W
網走携帯1	" 2号	1W
" 2	" 3号	"
" 3	" 4号	5W
" 4	" 5号	"
" 5	" 6号	1W
" 6	" 7号	"
" 7	" 8号	"
" 8	" 9号	"
" 9	" 10号	"
" 10	" 11号	"
" 11	" 12号	"
" 12	" 13号	"
" 13	" 14号	5W
網走警防1	" 15号	"
" 2	" 16号	"
" 3	" 17号	"
" 4	" 18号	"
" 5	" 19号	"
網走救急1	救急1号車(単・復信)	"
" 2	" 2号車(")	"
" 3	" 3号車(")	"
網走3	乗用車(コロナ)	10W
網走4	乗用車(デミオ)	10W
網走救急4	救急業務普及推進車(単・復信)	10W
卯原内1	予備	10W



——— 有線
----- 無線



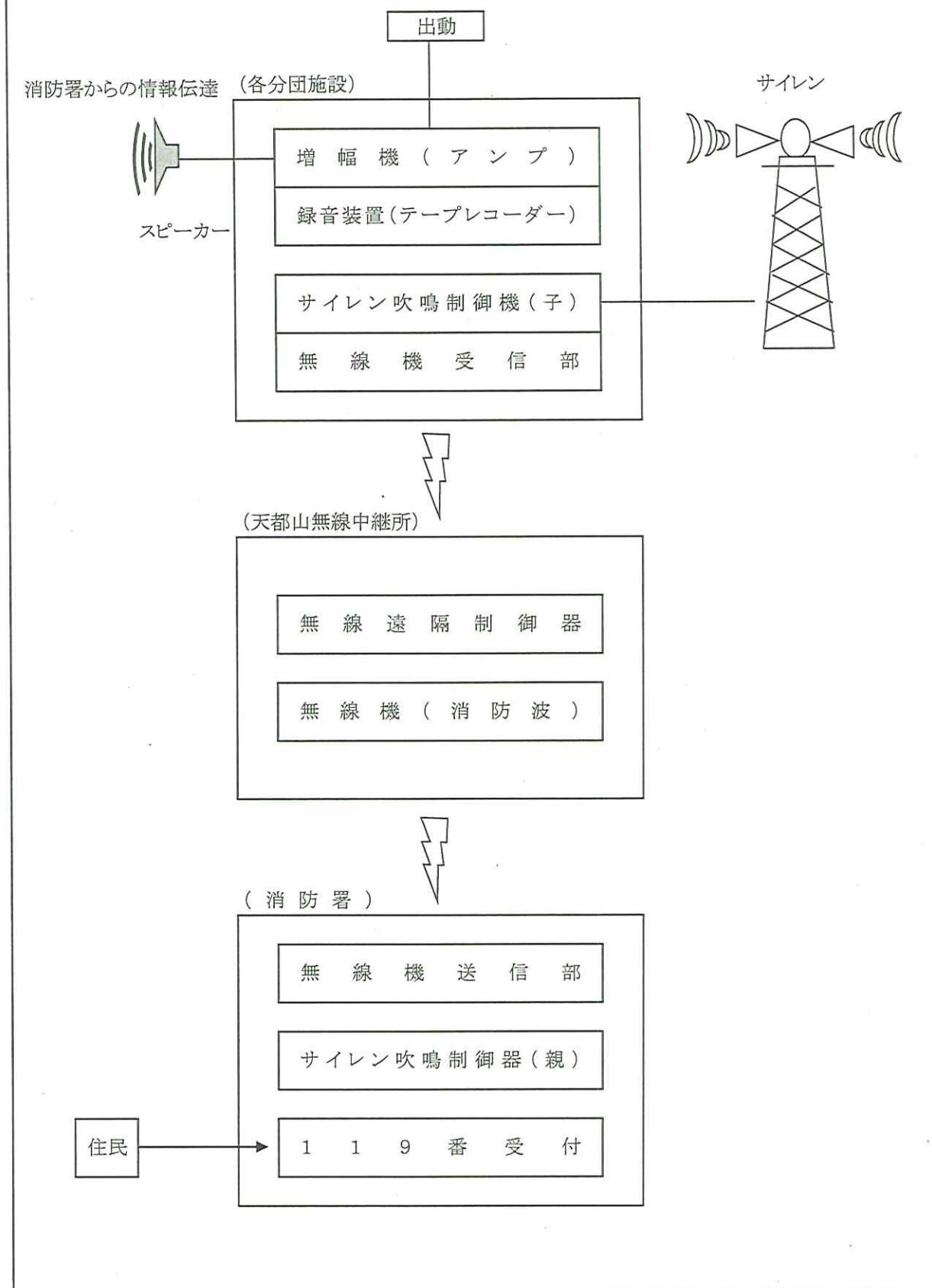
呼出名称	車両別	出力
大空指揮1	指揮広報車	10W
" 司令1	司令車	"
" 化学1	化学車	"
大空ポンプ1	一部車(ポンプ車)	10W
" タンク1	二部車(水槽車)	5W
" タンク2	三部車(水槽車)	"
" 水槽1	四部車(大型水槽車)	"
" 積載1	積載車	"
" 広報1	広報車	"
" 搬送1	搬送車	"
大空携帯1	携帯1号	5W
" 2	" 2号	"
" 3	" 3号	1W
" 4	" 4号	"
" 9	" 9号	5W
" 10	" 10号	"
" 11	" 11号	"
" 12	" 12号	"
" 13	" 13号	"
" 14	" 14号	"
大空救急1	救急車	10W
大空救急2	救急車	"
大空1	除雪車	"

報知専用電話 6回線		
報知専用電話 (IP) 3回線		
119番録音装置 2回線		
Eメール指令装置 1回線		

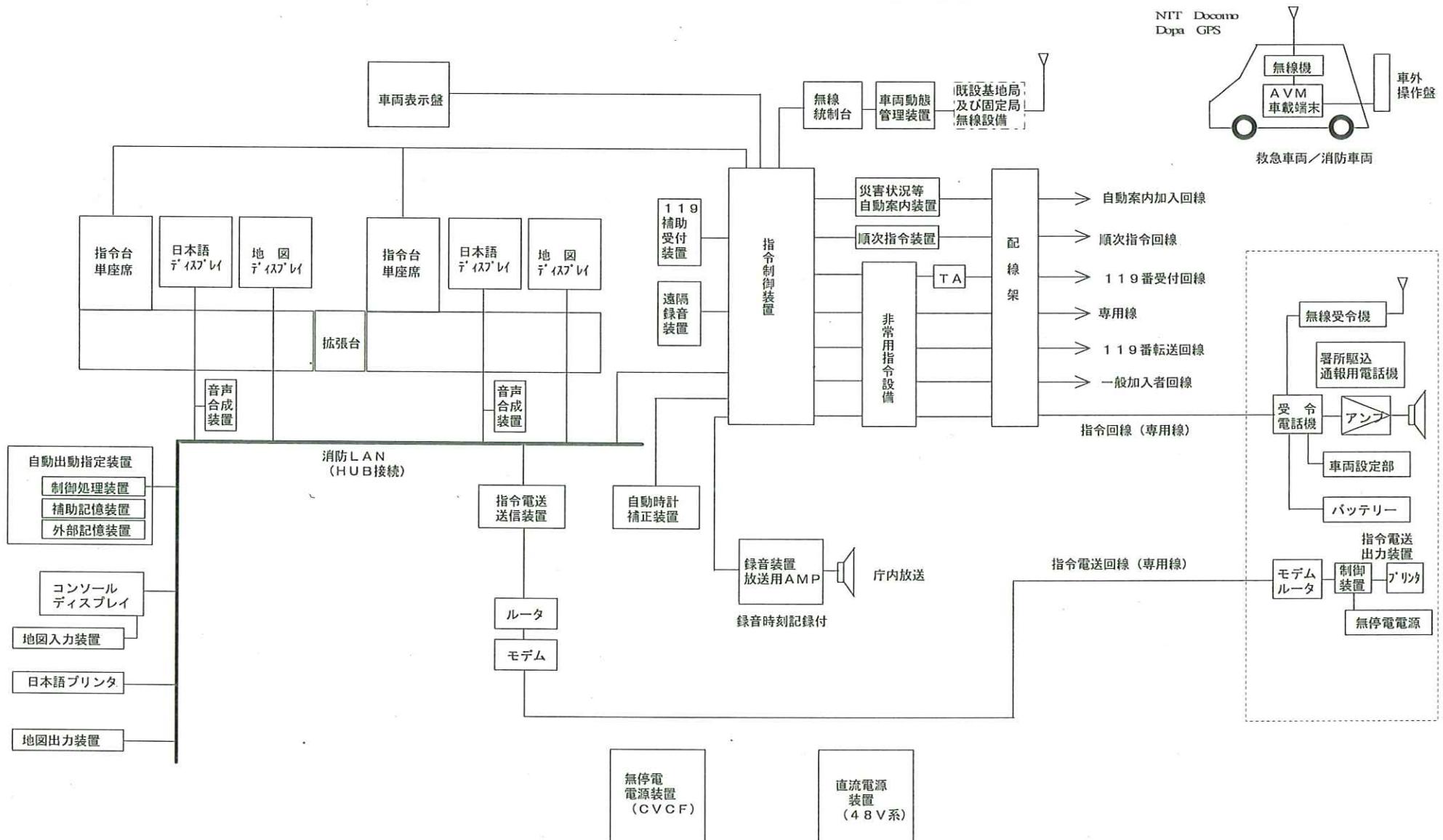
呼出名称	車両別	出力
東藻琴指揮1	指揮広報車(指令車)	10W
" 水槽2	2号車(大型水槽車)	"
" タンク1	1号車(水槽車)	"
" ポンプ1	4号車(ポンプ車)	"
" 広報1	広報車	"
" 水槽1	3号車(大型水槽車)	"
" 積載1	5号車(災害機材運搬車)	"
東藻琴携帯1	携帯1号	5W
" 2	" 2号	1W
" 3	" 3号	"
" 4	" 4号	"
" 5	" 5号	"
" 9	" 6号	"
" 10	" 7号	"
" 11	" 8号	"
" 12	" 9号	"
" 13	" 10号	"
" 14	" 11号	5W
東藻琴救急1	救急車(単・複信)	10W

第3部

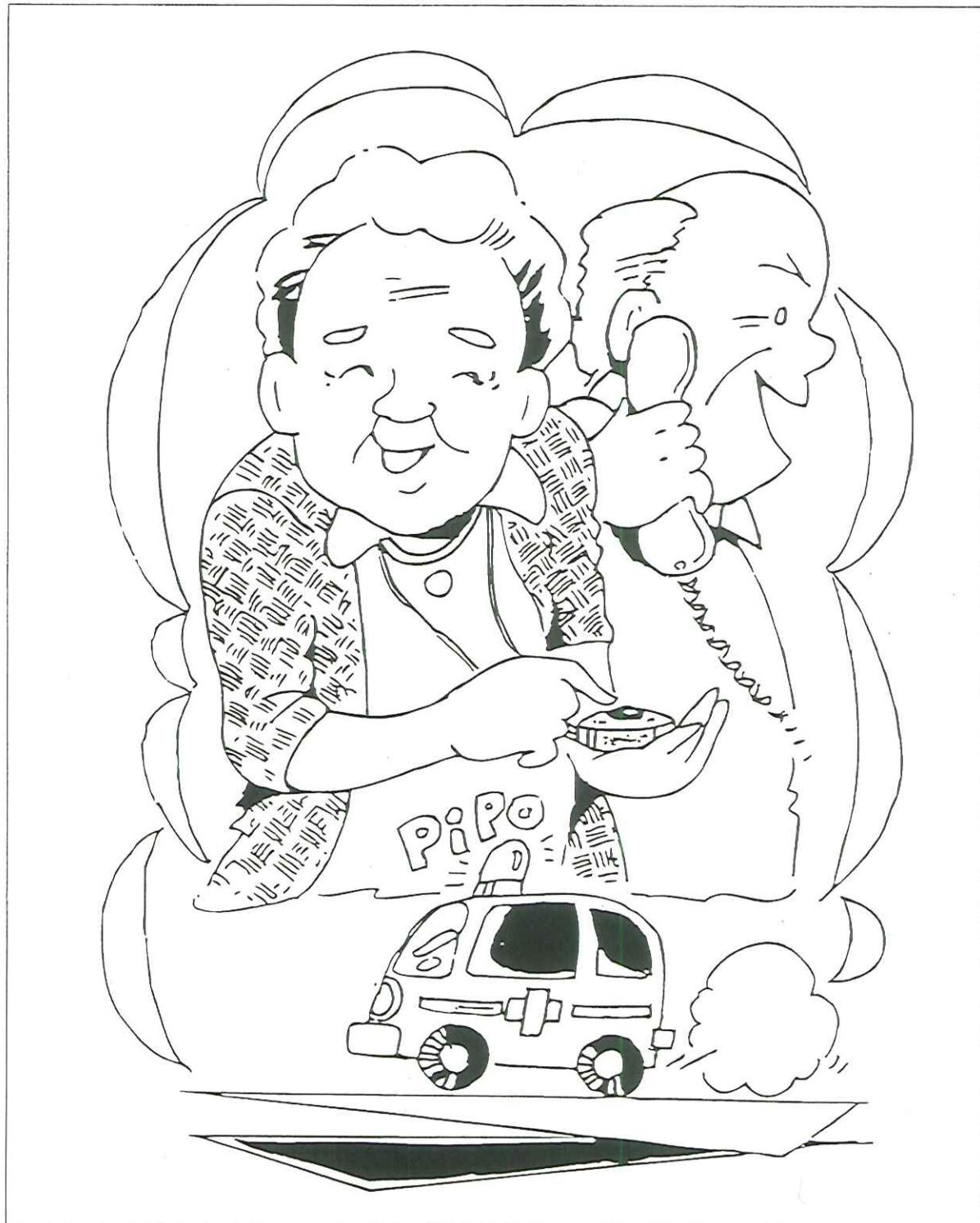
消防団緊急伝達システム構成図



消防緊急通信指令システム構成図



ひとり暮らしのお年寄りの安心を支える
網走市緊急通報システム
(ふれあいコール)



緊急通報システムの概要

網走市では、ひとり暮らしのお年寄りの方々が安心して生活できるように急病、事故、あるいは火災などの「もしも……」のとき電話機内蔵の通報装置で外部に自動的に連絡できるシステムを平成2年10月から運用開始しました。

24時間体制でお年寄りの方々の緊急時に備えるため、緊急通報は、消防署通信指令室に設置されたセンター機器に通報され、消防では通報者と応答した後、救急車、消防車の出動を指令します。

また、緊急時は近隣の「協力員」への連絡で看護等を受けられる体制も整っています。

一方、日常生活の相談ごとも通報装置の相談ボタンを押すだけで自動的に「網走市福祉部」へ通報され相談ごとができるようになっています。

1. 利用できる人

網走市に居住する、病弱なおおむね65歳以上のひとり暮らしのお年寄り及び重度の身体障害者

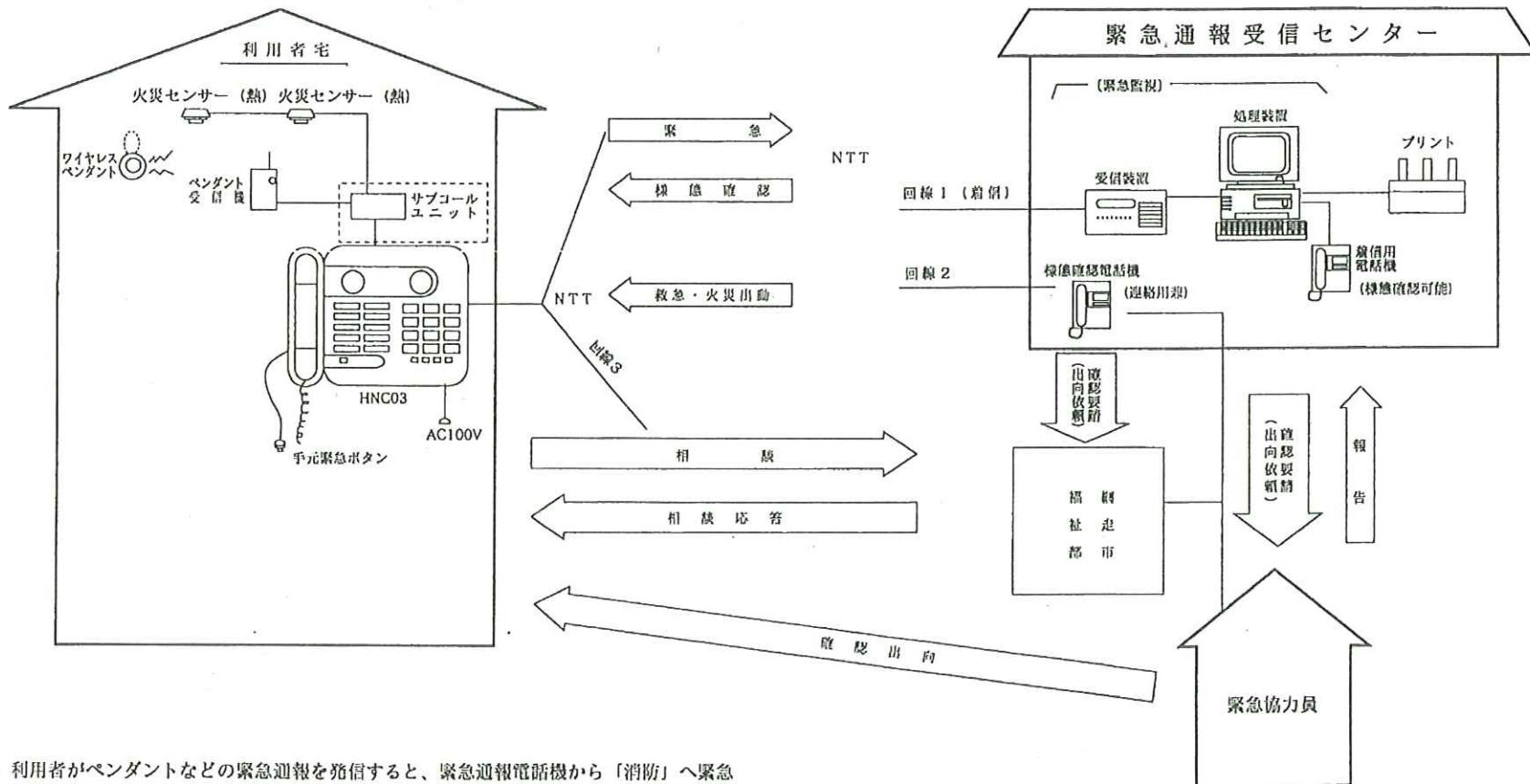
2. 緊急時の協力員

利用者の近隣に居住する友人、知人、民生委員、町内会の人

緊急通報装置側

網走市緊急通報システムのしくみ

緊急通報センター側（消防署通信指令室）



1. 利用者がペンダントなどの緊急通報を発信すると、緊急通報電話機から「消防」へ緊急事態を自動的に通報します。火災のときも同じです。
2. 通報を受けた「消防」は、発信者とお互いに応答をして、状況の確認を行います。
3. 発信者からの応答がなく、緊急事態が予想されるときは、救急車や消防車を出動させてひとり暮らしのお年寄りを助けます。
4. 「消防」は、緊急事態が予想されるときは「緊急協力員」に安否確認のための出向を要請することがあります。
5. 「緊急協力員」は、要請によりひとり暮らしのお年寄りの家へ急行して、安否の確認や援護にあたります。
6. 「緊急協力員」は、結果を「消防」へ報告します。
7. 相談ごとは、緊急通報電話機で自動的に「福祉部」へつながります。
8. 「福祉部」は、ひとり暮らしのお年寄とお互いに応答して、相談にこたえます。

51表 緊急通報システム受信状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	活動件数	うち市へ通報
区分	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	合計		
受理件数	2	4	6	8	3	2	3	3	3	5	7	4	50	47	46	
出動	火災															
	救急	2	4	6	7	3	2	3	2	2	5	7	3	46	46	43
	警戒															
	その他															
	小計	2	4	6	7	3	2	3	2	2	5	7	3	46	46	43
誤報	火災															
	救急															
	停電															
	故障															
	その他				1				1	1			1	4	1	3
	小計				1				1	1			1	4	1	3